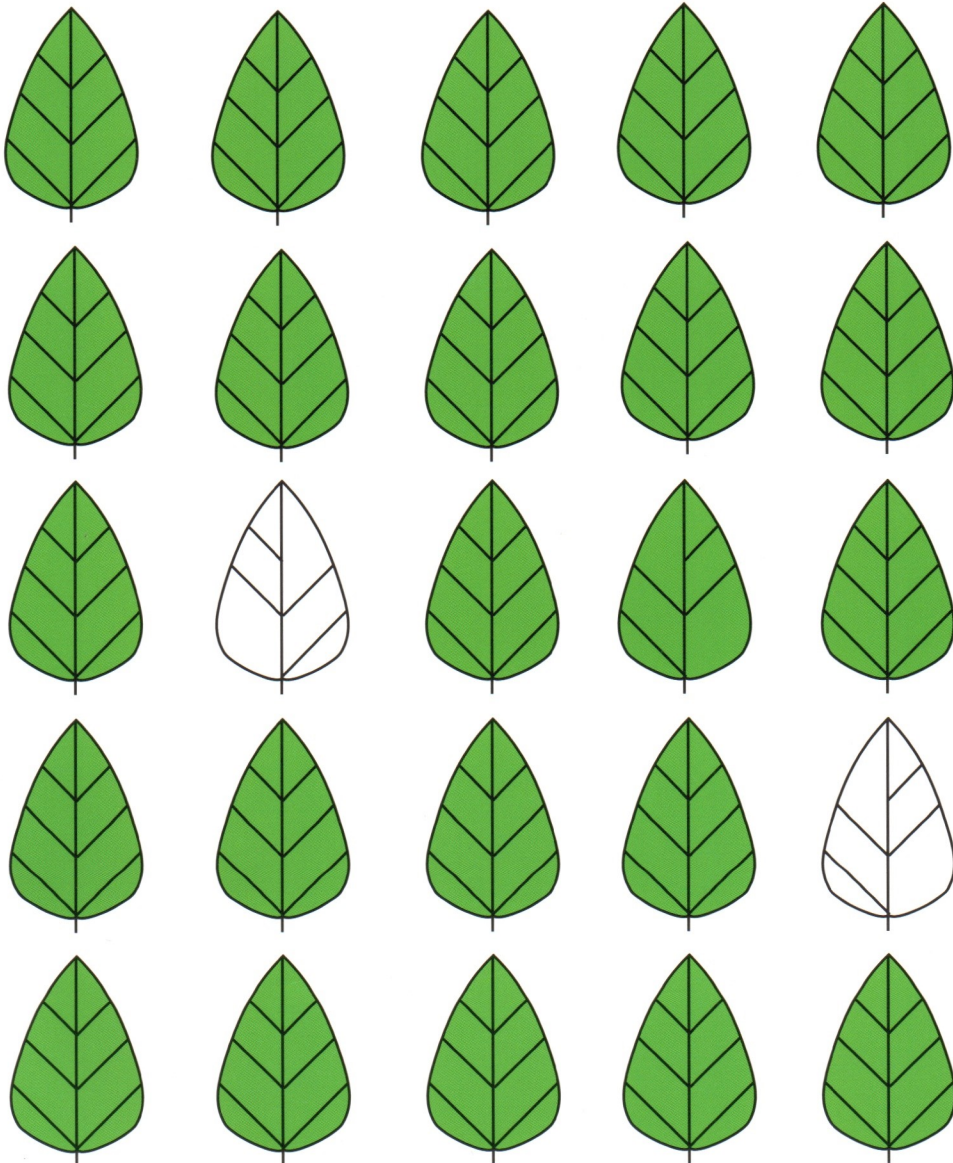


徳島県美術家協会

美術年報

2020



目 次

はじめに	徳島県美術家協会会長 松永 勉	1
平成 30 年度事業報告		3
平成 31 年・令和元年事業報告		6
令和元年度役員名簿		9
令和元年度各部役員名簿		10
第 27 回放美展記録		15
第 27 回放美展出品・入選等状況		20
第 27 回放美展公募規定		21
第 74 回徳島県美術展記録		22
第 74 回徳島県美術展出品・入選等状況		30
第 74 回徳島県美術展公募規定		31
徳島県美術展審査員一覧		32
徳島県美術展開催運営要項		36
第 15 回徳島県こども美術展出品・入選等状況		40
第 74 回徳島県展選抜展		42
2019 年各部記録		
・日本画部	部会長 岡 英彦	45
・洋画部	部会長 平木 美鶴	48
・写真部	部会長 上野 照文	55
・彫刻部	部会長 井下 俊作	58
・美術工芸部	部会長 松下 慶一	62
・書道部	部会長 隅田 英二	67
・デザイン部	部会長 坂野美恵子	73
徳島県美術家協会規約		76
後援承認事務取扱規定		77
後援名義使用承認申請書様式		78
令和元年度会員名簿		
・日本画部	80	・美術工芸部 88
・洋画部	81	・書道部 90
・写真部	84	・デザイン部 100
・彫刻部	88	

はじめに

徳島県美術家協会

会長 松 永 勉

昨年は、令和に改元された記念の年であります。令和はビューティフルハーモニーと訳され、外国にも発信されて、何か新しい希望を予感させます。年末には、吉野彰さんがリチウムイオン電池の開発によってノーベル化学賞に選ばれました。化学の分野も芸術と同じ様に、研かれた感性や優れた想像力が基礎となっております。発明や発見は、芸術の創作活動と相通じるものがあるため、素晴らしい研究をされたことが我々創作活動をする者にとっても嬉しい出来事でした。

さて、第74回徳島県美術展では、各部門とも県外作家に審査をお願いして公開審査を行い、それぞれ優秀な作品が受賞作品に選ばれました。特に今回は、全7部門のうち6部門において女性が特選特別賞を受賞しました。四国放送社長賞の野藤みきよさんの作品「花の宴」は、滋賀県まで行って撮影した写真で、「色の鮮やかさが印象深い」との評でありました。なお、写真部門の野藤さん夫妻の作品は、二人とも特選でした。また、徳島県美術家協会会長賞を受賞した彫刻部門の大貝寿子さんのセラミックの大作「ずっとずうっと」は、審査員から「知的な構成と造形力」と評されました。これまで彫刻部門でこれほど大きな焼き物の作品はなかったと思います。審査員から「断トツに優れている」と言われたのが印象に残りました。

県展は、県内最大の公募展として、今まで長く作品の成果を試す舞台としての役割を果たしています。いわば、自分の力量を客観的に見てもらう場であります。作者は日々制作に取り組みますが、自分の進んでいる道がどうなのか、なかなか自分では判断しがたいものです。そんな時に、多くの作品を見たり、自分の作品の評価を得たりすることは、一つの良い方法です。県展はその舞台を提供していると思います。

第27回放美展は、5月に開催され、入賞、入選を含め543点が展示されました。ここでも、7部門中5部門まで女性が放美賞を受賞しました。その中でデザイン部門の南絵里佳さん(20歳)、彫刻部門の鈴江空里子さん(19歳)、洋画部門の戸根由祐子さん(17歳)らの若者が放美賞に選ばれたのが特筆されます。毎年放美展では、若い作家の出品、受賞も多く、若手の登竜門としての役目を果たしています。各部門で行うギャラリートークは人気があり、多くのギャラリーを集めていました。これは、出品者が制作意欲を高める大切な企画となっています。

第15回徳島県こども美術展では、1万3千余点の応募があり、3,260点の入賞・入選・佳作が決まりました。感性豊かなこどもの育成を目指したこの企画は、今回で15回目になります。回を重ねるごとに素晴らしい作品の数々が集まっています。今回の絵画の部で県知事賞を受けた、岩佐桃花さんの静物画は、対象物をよく観察し、見事な構図と色彩でまとめた力作でした。書写の部の近藤優莉乃さんの作品「天空」もバランスの良い力強い作品でした。これらの作品は、阿波市、阿南市の会場でも展示があり、多くの来場者を集めました。

昨年県内で開催された美術展のうち、6月に、当協会日本画部主催「第59回新作日本画展」が開催されました。日本画部会の研鑽の場として、充実した作品の展示でありました。7月には、「第58回日本現代工芸美術展徳島巡回展」が開催され、当協会から多智花佐代子さん、森賢一さんらの出品があり、全国巡回の作品を含めて95点の見応えのある作品が展示されました。同じく7月に開催された、当協会洋画部による「第33回洋画部会員展」は、会員同士の研鑽交流の場として力作が並べられていました。10月には、阿波和紙伝統産業会館が公募した「アワガミ国際ミニプリント展2019」が、吉野川市の阿波和紙伝統産業会館で行なわれました。多岐に渡る版画作品が世界61カ国より、1,143名から1,628点の作品が寄せられました。地方で国際展を開催し文化と産業とアートを融合させることは、アートの魅力を創り出し地域の文化を高めることになるのではないかと思います。7月には、「第10回二科会写真部徳島支部展」があり、当協会からも多数の会員が出品して盛会でした。

慶事として、日本画部会長の岡英彦さんが、4月に第11回とくしま芸術文化賞を受賞されました。長年の活動が高く評価されたものだと思います。おめでとうございます。

訃報については、当協会の前副会長、美術工芸部会長などを務められた松下雄介さん、洋画部委員として長年当協会で洋画部のお世話をさせていただいた黒崎志郎さんが逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

最後になりましたが、徳島県、徳島新聞社、四国放送及び美術家協会関係者の皆様の当協会に対するご協力・ご支援に感謝の意を表します。

令和2年3月

平成 30 年度事業報告 (2018.4/1 ~ 2019.3/31)

- (1) 総 会 ◇平成 30 年 5 月 26 日 (土)
◇あわぎんホール 5F 会議室 6
◇平成 29 年度事業報告及び決算報告
◇監査報告・承認
◇平成 30 年度事業計画及び予算審議
◇その他
- (2) 第 26 回放美展
- (3) 第 73 回徳島県美術展
- (4) 第 14 回徳島県こども美術展
- (5) 第 73 回徳島県美術展 選抜展 平成 30 年 10 月 27 日～11 月 4 日
吉野川市文化研修センター
主催：NPO 法人吉野川市文化協会
協賛：徳島県美術家協会
- (6) 関係会議 ◇ 4 月 20 日 第 26 回放美展 第 2 回運営委員会 四国放送
◇ 5 月 17 日 第 73 回県展 第 1 回運営委員会 徳島新聞社
◇ 5 月 26 日 美術家協会総会 あわぎんホール
◇ 8 月 23 日 第 73 回県展 第 2 回運営委員会 徳島新聞社
◇ 11 月 30 日 第 27 回放美展 第 1 回運営委員会 四国放送
◇ 2 月 9 日 第 73 回県展 第 3 回運営委員会 徳島新聞社
◇ 3 月 16 日 理事会 あわぎんホール
- (7) 各部会行事 ◇写 真 部 写真部撮影会 (30.7.15) 京都
◇洋 画 部 第 32 回洋画部会員展 (30.7.5 ~ 7.8) あわぎんホール
◇美術工芸部 美術工芸部会員作品展 (30.3.1 ~ 3.4) あわぎんホール
- (8) 各種後援 ◎第 31 回 長玄書道会展 テーマ「長原皋聖先生を偲んで」(30.4.6 ~ 4.8)
◎西野和男日本画展 (30.4.10 ~ 4.16)
◎第 19 回 ニッコールクラブ徳島支部写真展 (30.4.13 ~ 4.15)
◎第 46 回 光輪社書作展 (30.4.13 ~ 4.15)

◎鳴門水彩美学展	(30.4.14 ~ 4.17)
◎第 36 回 徳島平和美術展	(30.5.17 ~ 5.20)
◎第 54 回 溪生社水墨展	(30.5.18 ~ 5.20)
◎ 18th. UNIT-D 写真作品展	(30.5.18 ~ 5.21)
◎第 48 回 直心会書展	(30.5.25 ~ 5.27)
◎徳島アート 21 第 16 回展	(30.5.31 ~ 6.3)
◎第 41 回 写真同心「炎」作品展	(30.6.8 ~ 6.10)
◎第 41 回 八紅展	(30.6.14 ~ 6.17)
◎第 25 回 記念 耿の会書作展	(30.6.15 ~ 6.17)
◎第 39 回 東光会徳島支部展	(30.6.22 ~ 6.24)
◎第 77 回 世代美術展	(30.7.12 ~ 7.15)
◎第 14 回 総合美術展	(30.7.14 ~ 7.16)
◎第 32 回 四国大学文学部書道文化学科 教員展	(30.8.3 ~ 8.5)
◎第 26 回三美書研展	(30.8.24 ~ 8.26)
◎第 83 回 書芸院展 一竹のごとくー	(30.8.30 ~ 9.2)
◎第 7 回 青藍会書作展	(30.8.31 ~ 9.2)
◎第 13 回 写真同人「光」写真展	(30.8.31 ~ 9.2)
◎第 5 回 絵画教室アワ・アート作品展	(30.8.31 ~ 9.5)
◎第 74 回 青美展	(30.9.1 ~ 9.4)
◎第 63 回 書協人展	(30.9.7 ~ 9.9)
◎第 8 回 木田英之と写真クラブ合同展	(30.9.7 ~ 9.9)
◎ Gruppo Foto 23 写真展	(30.9.7 ~ 9.10)
◎第 58 回 写楽会写真展	(30.9.22 ~ 9.24)
◎第 22 回 旺美展 (旺玄会東四国支部展)	(30.10.3 ~ 10.9)
◎第 24 回 徳島障害者芸術祭エナジー 2018	(30.10.10 ~ 10.14)
◎第 11 回 徳島絵画美学展	(30.10.17 ~ 10.21)
◎第 5 回 写真倶楽部八丁目写真展	(30.10.20 ~ 10.22)
◎第 3 回 絵画カロリト展	(30.10.24 ~ 10.28)
◎木田写真クラブ 組写真展	(30.10.26 ~ 10.28)
◎第 17 回 一心会書展	(30.10.26 ~ 10.28)
◎第 14 回 吉野川市書人会作品展	(30.11.16 ~ 11.18)
◎第四回 つくしの会展	(30.11.16 ~ 11.18)
◎第 21 回 溪生社水墨画小品展	(30.11.16 ~ 11.18)
◎乾繁春絵画展	30.11.22 ~ 11.26)
◎第四十八回 芳藍書道展	(30.11.23 ~ 11.25)
◎第 22 回 せせらぎ書展	(30.11.23 ~ 11.25)

◎第 33 回 藍美展	(30.11.23 ~ 11.25)
◎第 40 回 泉心会書作展	(30.11.23 ~ 11.25)
◎ 16 回 徳島版画 Tokushima Print Works 2018	(30.11.28 ~ 12.2)
◎第 3 回 由源書心会展	(30.11.30 ~ 12.2)
◎第 7 回 虹光会書展	(30.12.1 ~ 12.2)
◎第 3 回 書道創作グランプリ	(30.12.1 ~ 12.11)
◎森賢一 全画展	(30.12.7 ~ 12.10)
◎第 47 回 歳末チャリティー作品・色紙即売会	(30.12.14 ~ 12.16)
◎第 23 回 尚真書展 ー併催ジュニア展ー	(30.12.14 ~ 12.16)
◎第 39 回 臨池書展	(30.12.15 ~ 12.16)
◎創る彩る 四十宮年代展	(30.12.21 ~ 12.23)
◎第 24 回 六書会書展	(30.12.22 ~ 12.24)
◎第 51 回 モダンアート徳島支部展	(31.1.11 ~ 1.20)
◎第 43 回 東玄書道会展	(31.1.18 ~ 1.20)
◎第 24 回 悠美展	(31.1.25 ~ 1.27)
◎第 44 回 四国大学書道文化学科卒業制作展	(31.2.8 ~ 2.10)
◎毎日書道展第 70 回記念 毎日現代書巡回展徳島展	(31.2.11 ~ 2.17)
◎第 29 回 美術文化徳島支部展	(31.2.21 ~ 2.24)
◎玉城乾香書の世界 生きる・いのちの書	(31.3.1 ~ 3.3)
◎第 7 回 琴清会書展	(31.3.1 ~ 3.3)
◎第 52 回 書道研究清潮書作展	(31.3.1 ~ 3.3)
◎平成 30 年度徳島大学書道部 OB 会書作展	(31.3.8 ~ 3.10)
◎第 50 回 ナルトぴんぼけクラブ写真展	(31.3.15 ~ 3.17)
◎第 39 回 書研社展	(31.3.22 ~ 3.24)
◎第 33 回 正鋒会書展	(31.3.22 ~ 3.24)
◎第 32 回 長玄書道会展 テーマ『徳島』	(31.3.29 ~ 3.31)

平成 31 年・令和元年事業報告 (2019.4/1 ~ 2019.12/31)

- (1) 総 会 ◇令和元年 5 月 18 日 (土)
◇あわぎんホール 5F 会議室 6
◇平成 30 年度事業報告及び決算報告
◇監査報告・承認
◇令和元年度事業計画及び予算審議
◇その他
- (2) 第 27 回放美展 (別掲)
- (3) 第 74 回徳島県美術展 (別掲)
- (4) 第 15 回徳島県こども美術展 (別掲)
- (5) 第 74 回徳島県美術展 選抜展 令和元年 10 月 26 日～11 月 4 日
吉野川市文化研修センター
主催：NPO 法人吉野川市文化協会
協賛：徳島県美術家協会
- (6) 関係会議 ◇ 4 月 19 日 (金) 第 27 回放美展 第 2 回運営委員会 四国放送
◇ 5 月 18 日 (土) 美術家協会総会 あわぎんホール
◇ 5 月 23 日 (木) 第 74 回県展 第 1 回運営委員会 徳島新聞社
◇ 8 月 22 日 (木) 河崎前会長感謝状贈呈
第 74 回県展 第 2 回運営委員会 徳島新聞社
◇ 11 月 29 日 (金) 第 28 回放美展 第 1 回運営委員会 四国放送
- (7) 各部会行事 ◇日本画部 第 59 回新作日本画展 (1.6.20 ~ 6.23)
阿波銀プラザ臨時ギャラリー
◇洋画部 第 33 回洋画部会員展 (1.7.25 ~ 7.28) あわぎんホール
◇写真部 写真部撮影会 (1.6.30) 倉敷市美観地区
- (8) 各種後援 ◎第 47 回 光輪社書作展 (31.4.12 ~ 4.14)
◎第五回 尚石会書展 (31.4.12 ~ 4.14)
◎第 10 回 鳴門水彩美学展 (31.4.13 ~ 4.16)
◎第 20 回 ニッコールクラブ徳島支部写真展 (31.4.19 ~ 4.21)

◎第 37 回 徳島平和美術展	(31.4.25 ~ 4.28)
◎乾繁春絵画展	(1.5.2 ~ 5.6)
◎第 55 回 溪生社水墨画展	(1.5.10 ~ 5.12)
◎第 49 回 直心会書展	(1.5.17 ~ 5.19)
◎第 42 回 写真同人「炎」作品展	(1.5.31 ~ 6.2)
◎土方るみ子日本画展 一時を奏でる一	(1.6.4 ~ 6.10)
◎徳島アート 21 第 17 回展	(1.6.6 ~ 6.9)
◎第 40 回 東光会徳島支部展	(1.6.7 ~ 6.9)
◎隅田良佑・英二 回顧展	(1.6.8 ~ 6.11)
◎第 26 回 耿の会書作展	(1.6.14 ~ 6.16)
◎第 59 回 新作日本画展	(1.6.20 ~ 6.23)
◎第 78 回 世代美術展	(1.7.11 ~ 7.15)
◎（一社）二科会写真部徳島支部展	(1.7.12 ~ 7.16)
◎第 15 回 総合美術展	(1.7.13 ~ 7.15)
◎徳島青澄 第 7 回 翔和会かな書作展	(1.7.26 ~ 7.28)
◎第 33 回 四国大学文学部書道文化学科教員展	(1.8.2 ~ 8.4)
◎第 75 回 青美展	(1.8.22 ~ 8.25)
◎第 84 回 書芸院展 一旋律にのせて一	(1.8.22 ~ 8.25)
◎第 27 回 三美書研展	(1.8.23 ~ 8.25)
◎第 14 回 写真同人「光」写真展	(1.8.30 ~ 9.1)
◎第 10 回 阿波美術の森 作品展	(1.9.4 ~ 9.8)
◎Gruppo Foto 23 写真展	(1.9.6 ~ 9.9)
◎第 9 回 木田英之と写真クラブ合同展	(1.9.13 ~ 9.15)
◎第 64 回 書協人展	(1.9.19 ~ 9.21)
◎第 59 回 写楽会写真展	(1.9.21 ~ 9.23)
◎原爆の図と文化の図	(1.9.28 ~ 10.2)
◎第 25 回 徳島障害者芸術祭エナジー 2019	(1.10.1 ~ 10.6)
◎第 44 回 旺玄会徳島支部展	(1.10.2 ~ 10.8)
◎第 6 回 写真倶楽部八丁目写真展	(1.10.5 ~ 10.7)
◎第 12 回 徳島絵画美学展	(1.10.17 ~ 10.20)
◎生誕百年記念 佐野比呂志チャリティ作品展	(1.10.19 ~ 10.27)
◎第 18 回 一心会書展	(1.10.25 ~ 10.27)
◎第 22 回 泰書展 テーマ：川	(1.10.26 ~ 10.27)
◎AWA 現代アート展 2019 一お山の芸術祭一	(1.11.2 ~ 11.16)
◎第 22 回 溪生社水墨画小品展	(1.11.8 ~ 11.10)
◎第 34 回 藍美展	(1.11.8 ~ 11.10)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ◎第 15 回 吉野川市書人会作品展 | (1.11.15 ~ 11.17) |
| ◎第 49 回 芳藍書道展 | (1.11.22 ~ 11.24) |
| ◎第 23 回 せせらぎ書展 | (1.11.22 ~ 11.24) |
| ◎第 4 回 由源書心会展 | (1.11.29 ~ 12.1) |
| ◎第 25 回 記念六書会書展 | (1.11.29 ~ 12.1) |
| ◎第 4 回 書道創作グランプリ | (1.11.30 ~ 12.11) |
| ◎第 17 回 徳島版画展 | (1.12.11 ~ 12.15) |
| ◎第 48 回 歳末チャリティー作品・色紙即売展 | (1.12.13 ~ 12.15) |
| ◎第 24 回 尚真書展 一併催ジュニア展一 | (1.12.13 ~ 12.15) |
| ◎第 40 回 臨池書展 | (1.12.14 ~ 12.15) |
| ◎第 41 回 泉心会書作展 | (1.12.20 ~ 12.22) |

令和元年度 役員名簿

会 長	松 永 勉
副会長	西 野 和 男
〃	荒 井 彭 仙
事務局長	藤 井 哲 信
理 事	岡 英 彦
〃	土 井 洋 子
〃	土 方 るみ子
〃	中 西 芳 雄
〃	平 木 美 鶴
〃	伊 勢 浩 章
〃	玉 田 秀 子
〃	嵯 峨 潤 三
〃	西 川 周 三
〃	上 野 照 文
〃	橋 本 圭 祐
〃	井 藤 光 章
〃	林 敏 彦
〃	増 田 寿
〃	井 下 俊 作
〃	鎌 田 邦 宏
〃	居 上 真 人
〃	上 月 佳 代
〃	松 下 慶 一
〃	森 賢 一
〃	橘 惠
〃	森 明 治
〃	隅 田 英 二
〃	竹 田 和 代

理 事	薄 田 玲 泉
〃	能 仁 華 瑤
〃	宮 守 崇 流
〃	坂 野 美恵子
〃	福 井 章
〃	田 中 一 郎
〃	沢 口 功
監 事	橘 惠
〃	宮 守 崇 流
顧 問	長 尾 弘 子
〃	櫛 渕 魏

令和元年度 各部役員名簿

日本画部

部会長	岡 英 彦
委 員	長 尾 弘 子
〃	西 野 和 男
〃	長 谷 壽
〃	土 井 洋 子
〃	土 方 るみ子
〃	柳 田 一 子
〃	坂 容 子
〃	梶 浦 千 瑞
監 事	中 西 芳 雄
〃	日 浦 猛 史
事務局員	日 浦 猛 史
〃	柳 田 一 子

洋画部

部会長	平 木 美 鶴
委 員	梶 田 務
〃	長 尾 弘 久
〃	玉 田 秀 子
〃	田 中 シゲミ
〃	西 川 周 三
〃	伊 勢 浩 章
〃	嵯 峨 潤 三
〃	鈴 木 敬 子
〃	島 上 二 郎
〃	二 條 均
〃	遠 藤 誠 一
〃	手 塚 てる子
〃	大 西 文 代
〃	杉 本 祥 子
監 事	田 中 シゲミ
〃	伊 勢 浩 章
事務局員	西 川 周 三
〃	手 塚 てる子

写真部

部会長
委員

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

監 事

〃

事務局員

〃

上野 照文
柳 圭 魏
橋 本 祐
井 藤 章
林 敏 彦
増 田 寿
田 村 弘
伊 達 子
大 和 司
森 住 博
川 眞 治
堀 口 男
野 藤 きよ
梅 本 範
岩 崎 英 昭
平 野 史 子
賀 川 泰 広
船 越 正 文
大 津 勝 治
武 地 雅
土 橋 成 行
野 口 佳 一
三 木 理 司
森 内 昭 男
田 中 伸 廣
井 上 憲 治
阿 部 啓 三
福 田 勉
吉 田 隆 之
岸 田 義 市
板 東 よしお
熊 谷 美 智子
高 橋 一 恵
田 村 泰 弘
森 住 憲 博
阿 部 啓 治

彫刻部

部会長
委員

〃

〃

〃

〃

〃

監 事

〃

事務局員

〃

井 下 俊 作
佐 藤 隆
鎌 田 邦 宏
居 上 真 人
武 田 亜希子
東 光 司
木 村 大 志
上 月 佳 代
武 田 亜希子
居 上 真 人
木 村 大 志

美術工芸部

部会長	松 下 慶 一
委 員	山 上 馨
"	七 條 猪三郎
"	矢 野 款 一
"	多智花 佐代子
"	森 賢 一
"	橘 惠
"	犬 伏 絢
"	斎 藤 和 彦
"	森 明 治
"	藤 井 哲 信
"	田 村 栄一郎
"	大 貝 貞 雄
"	松 本 宏
監 事	大 貝 貞 雄
"	田 村 栄一郎
事務局員	藤 井 哲 信
"	松 本 宏

書道部

部会長	隅 田 英 二
委 員	青 木 東 原
"	赤 川 景 舟
"	朝 三 皐 如
"	東 南 光
"	阿 部 博 子
"	荒 井 彭 仙
"	和 泉 和 舟
"	伊 丹 東 龍
"	井 上 虹 雨
"	岩 本 志 豪
"	上 田 輝 芳
"	上 野 益 泉
"	内 田 麻 紀
"	大 下 江 波
"	大 西 清 葩
"	岡 崎 啓 香
"	沖 田 唐 谷
"	折 野 佳 子
"	加 村 喜美子
"	亀 石 文 苑
"	川 上 虹 泉
"	河 野 真 流
"	河 野 多 美
"	川 端 康 清
"	川 村 春 琴
"	岸 緑 香
"	日 下 溪 翠
"	倉 本 景 雨
"	幸 田 清 尚
"	清 水 桂 月

委 員	下 村 清 子
"	鈴 江 美 音 子
"	鈴 木 恵 理
"	薄 田 玲 泉
"	高 瀬 大 峯
"	高 田 青 蓮
"	田 上 洋 香
"	高 柳 早 秀
"	武 市 鳴 雲
"	竹 田 和 代
"	武 田 玲 香
"	多 田 清 芳
"	玉 城 乾 香
"	玉 城 乾 舞
"	富 久 鳴 泉
"	中 尾 勝 子
"	中 谷 史 子
"	永 松 春 苑
"	中 村 春 岳
"	仁 木 志 香
"	西 谷 香 峰
"	能 仁 華 瑤
"	浜 佳 香
"	林 桂 翠
"	平 岡 幽 琴
"	福 永 美 泉
"	藤 村 柳 葉
"	藤 原 育 代
"	松 永 翠 月
"	丸 岡 春 曉
"	丸 田 恵 風
"	三 宅 葉 子

委 員	三 浦 富美代
"	南 溪 石
"	宮 守 崇 流
"	向 井 京 子
"	森 光 翔
"	森 本 成 玉
"	八 木 藍 玉
"	矢 部 知 子
"	山 口 華 城
"	山 口 幽 徑
"	山 本 景 琴
"	吉 田 翠 彩
監 事	折 野 幸 峰
"	弘 田 長 風
事務局員	長 原 皋 月
"	林 美 雪

デザイン部

部会長	坂 野 美恵子
委 員	福 井 章
〃	田 中 一 郎
〃	沢 口 功
〃	敷 島 のり子
〃	吉 本 實
〃	斎 藤 繁 次
〃	四十宮 隆 志
〃	西 林 良 枝
〃	斎 藤 剛
監 事	山 内 典 子
〃	天 羽 宏 美
事務局員	四十宮 隆 志
〃	山野井 宏 宗

第 27 回放美展記録



会 期 令和元年 5 月 2 日 (木) ～ 6 日 (月)
 時 間 10:00 ～ 17:00 (入場は 16:30 まで)
 会 場 あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

日本画

[審 査 員]	中西 芳雄	日浦 猛史	坂 容子		
[無 鑑 査]	富永 博子	西岡 ちほ			
[放 美 賞]	水田 貴子				
[優 秀 賞]	藤原 真美				
[四国大学賞]	仁木蒼一郎				
[入 選]	井上美恵子	植田 忠生	近藤 芳治	中川 正志	鈴木 恵子
	加藤 敦美	関本 節子	是永 麻貴	大久保慎宙	野口 水月
	大岩 未夢	藤原 和子	久保 守近	山本 敏子	木原 典子
	岸本 真弓	川野 沙英			

洋画

[審査員]	露口 敏幸	西川 周三	鈴木 敬子		
[無鑑査]	杉本 祥子	小笠原秋子	北村 照子		
[放美賞]	戸根由祐子				
[優秀賞]	宮内 一子 竹田 彩夏	遠藤公美子	川中比沙子	西村茉莉杏	重田 悠人
[四国大学賞]	一森 星南				
[入選]	大坪潤一郎 眞鍋たえ子 篠原 稔 濱田 将輝 福井 摂哉 小笠 正明 西條 敏夫 押栗 洋子 前野 亮治 高木 幸美 東 朗 森本 操 岩井 春美 植村 美優 坂本 百霞 安藤 瑛梨 富永 陽登	谷 慎也 新藤佐代子 藤本 誠子 為実美恵子 井添 弘美 林 茂子 藤川佐由美 赤木 秀明 平野 幸子 和田 寿子 曾我部清美 米沢 博 越久村雅仁 宮崎 礼菜 住友 千紘 藤本 愛 大久保佐智子	伊音 稔 大場 孝一 東條 博人 林 敏雄 服部 和代 福本 恵 夏木 洋子 横畠 寛 工藤 桂子 藤本眞佐子 中村 俊夫 石山 奈緒 薛 源 西野 史絵 坂東 弘子 埴渕 照二 谷崎 愛菜	田中千恵子 賀川紀美子 河野 博匡 多田美千代 後藤 和子 長尾賀代子 天野 利明 山口 明美 横井嘉世恵 野口 康代 伊勢谷昭博 岡崎 恵 枋谷日菜子 阿部 結奈 答島 和年 富本ひより	杉村 良典 林 静代 小川 美輝 安友三恵子 阿部 昌子 井関久美子 黒島 貞子 稲木 友哉 白草 由子 住友 洋士 舟越美由紀 野上 恵子 佐阪 優月 米田和希子 大地 彩加 七田 理彩

写真

[審査員]	橋本 圭祐	井藤 光章	上野 照文		
[無鑑査]	野藤みきよ	熊谷美智子	福井 純子	高橋 一恵	野藤 敏美
[放美賞]	おどみ岐諷				
[優秀賞]	幾田 茂仁 山下 修司	野田 賢 秋山 修一	野村 和夫 山上 道子	鈴江 純史 谷 ひづる	富岡佳代子 住友 登
[四国大学賞]	南 乙羽				
[入選]	増田 実 ⁽²⁾	井上 義信 ⁽³⁾	森住 孝義 ⁽²⁾	東村 侑一	おどみ岐諷 ⁽²⁾

幾田 茂仁(2)	河野 俊文(3)	戸井 咲良	谷 嘉明(2)	板東美智代
高田佳世子	塩江 優	板東よしお(2)	喜多 昌弘	辺見 博子(2)
佐竹 清	石川 征志	岡田 政子(2)	佐藤 康江	佐藤 政男(2)
南 敦子(2)	加藤 郁代(3)	鎌田 克臣	岡 三希生	泉 清美(3)
野田 賢(2)	岡本 満幸	吉田 隆之	山口 正明	今出 弘(2)
鍋島治世子	杉本 昌弘	三谷美津子(2)	山田 喜吉	姫野 博司
江口美恵子(2)	鎌田 利子	原 和夫(2)	古岡 友子(2)	中野みどり(2)
齋藤 幹夫	中岸 信彦	藤本 祐二	鈴江 純史(2)	富岡佳代子
山下 修司	久保 朋也	秋山 修一	鈴木 雅則(3)	福井 邦博(3)
笠井 孝純	柏原 史郎	森山 節子	水口 ゆみ	鈴江久美子(2)
藤田 玲士	三木 啓司	高曽根信義(2)	林 好一(3)	緒方 静子(2)
二階 博司	佐藤美智子(2)	山上 堯	山上 道子(2)	八木 英一
大澤 典子(2)	桑原 明伸(2)	谷 ひづる	圓藤由貴子	大西 忠(3)
山根 茂美	喜屋武美沙子	原田 愛	加藤 愛海	賀川 泰廣
廣野美知子(3)	安丸 弘二			

彫 刻

[審 査 員]	居上 真人	武田亜希子	鎌田 邦宏		
[無 鑑 査]	大貝 寿子				
[放 美 賞]	鈴江空里子				
[優 秀 賞]	猪井 賢二				
[四国大学賞]	黒田あすか				
[入 選]	北條 弘登	大貝 貞雄	横畠 寛	筒井 豊	長谷川 優
	吉田 陽子	中原 美波	瀬尾 萌菜	椎野 瑞希	井上万寿日
	國見 雪菜	林 一美	鳥井 桃伽	鈴江空里子	

美術工芸

[審 査 員]	橘 恵	森 明治	斎藤 和彦	
[無 鑑 査]	大貝 貞雄	松本 宏		
[放 美 賞]	尾藤 芳尚			
[優 秀 賞]	久保 英樹	堀尾 早敏	前野 亮治	近藤佐起江
[四国大学賞]	奥浦 愛香			

[入 選]	泉 恵子	西岡 秀規	上田 優	檜原愛唯奈	高木 瑠菜
	宮本 愛実	大村 万葉	笹木美桜里	澤口 美里	森江 美憂
	中浦 啓子	小林 清重	阿部 能則	清松 久三	石井 春夫
	青木 壽美	中川 澄男	高島 悦江	久保 英樹	平瀬 進也
	石川 眞一	川西 徳男	井開 洋子	田村 公子	佐治 孝
	森 克江	遠藤 好子	長尾賀代子	遠藤 勇	宮本 薫
	長尾 敏子	平尾 静子	手塚 健一	眞鍋 謙弘	武田 純子
	横井嘉世恵	東條 容子	濱口 正義	近藤 一男	中西 達也
	板東 啓子	増田 裕子	四宮 千代	井上 英子	西内 貞二
	高瀬 裕司	多田 慎二	北町 裕子	大草 幸子	藤中 敦代
	松永 卓司	松本みづる	毛利 貴子	原田 明子	武田 潤子
	枝澤 大翔	財田 海士	上久保佳子	仁木富久子	吉野 由紀
	前川 政秀	向 紫	大内 敏男		

書 道

[審 査 員]	伊丹 東龍	上田 輝芳	荒井 彭仙		
[無 鑑 査]	石川 翔子	田村 元帥			
[放 美 賞]	田中 子葉				
[優 秀 賞]	西 朱理	手塚 浩美	市原 彩光	大野 瑠華	池内 愛美
	児玉 幸子	村上 芳春	佐藤由紀代	荒井 遥風	
[四国大学賞]	尾崎 栞				
[入 選]	佐滝 泉月	深薮 美雪	新瀨 啓歩	細井 青峯	光山 実沙
	谷内 花聲	谷本 藍泉	四宮 花奈	小笠 英文	先山 晴虹
	木内 暎光	伊藤 輝	吉田 百花	斎藤須美代	大坂 緑
	三木 孝之	前田 珠里	佐渡 梢花	吉岡 春鵬	松村 就子
	斎藤 節子	藤村 志織	松浦 由奈	芦和 晴佳	大垣 鈴香
	笠井 柚季	近藤 優菜	武市 莉奈	沼江 美帆	藤本 りさ
	漢那 遥花	岸上 結衣	岡田 楓	大畠ひまり	國安優衣奈
	長松 芽吹	丸岡 真弓	松英 彩華	武市 有未	山本 千晴
	美馬明日翔	清瀬 愛菜	由宇 星華	佐藤 香乃	大西香織里
	宮本萌々香	中平 葵衣	堤 桜香	仁義 晶	廣永 愛海
	佐々木泰仁	西川 実希	久米可奈子	桜木 友渚	藤崎 友子
	竹田千鶴子	北村 佳子	岸本 廣江	柳本 歩	泉 幸奈
	森内日菜子	畠山 花鮮	松下 莉子	香川百々花	大東 桃静

井上 景玄	谷口 桜芳	竹島 華芳	東條 輝水	上野 邦江
鯉渕 輝川	小川万喜子	友平 有香	井田 直樹	内田 志乃
東 優花	三好 優莉	町田 哲子	沖野 道代	林 歩花
友廣 京佳	木内 理紗	作道 泉美	東條 祐真	中田 幸希
近藤 晴香	齋藤 茉白	中野 妃萌	川下 芳婉	小野 宙成
今治 宏美	川端 康清	坂尾 竟成	中西 之桐	森本 成玉
義富 博正	嵯峨 衣織	原田 理絵	正見 千恵	高瀬 大峯
幸田 清尚	川又 晃容	大石 康正		

デザイン

[審査員]	福井 章	坂野美恵子	四十宮隆志		
[無鑑査]	田村 あい	山野井宏宗			
[放美賞]	南 絵里佳				
[優秀賞]	鈴木壮二郎	高井 奈穂	粟飯原 稜	前田 汰星	
[四国大学賞]	中野 果梨				
[入選]	田中 公代	藤本 一真	長濱 綾花	山崎 百絵	松島 早紀
	外磯 由貴	岡 未優菜	塩崎 智絵	住友 月美	小村 智美
	吉岡 香音	岩崎 翔星	酒井麻優子	信田 幸一	石井 友華
	田中 乃愛	薛 源 ⁽²⁾	大久保玲風 ⁽²⁾	小倉 知恵	谷崎 和広 ⁽²⁾
	中西ほのか	佐藤 玲実	赤澤 瑠捺	川田 彩乃	関根 明里
	川下 結以	萩原 結衣	木村 あい	勝野 竜駿 ⁽²⁾	山中 晴貴
	稲岡 千夏	泉 絢名	鍋島美都妃	藤川 琢真	伊丹 想
	宮本 夏希	元木 彩恵	岩寄 涼	埴渕 照二	田中 綾乃
	堀江 紗弥	村田佳奈子	井村 圭穂	粟飯原早希	山下 茉凜
	リンツ ジャスミン	真理子	高橋 虹佳	下横 美琴	佐野 仁美
	谷崎こころ				

第 27 回放美展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		29	161	255	20	98	221	99	883
出 品 者 数		29	144	102	19	73	178	90	635
入 賞 ・ 入 選	放 美 賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優 秀 賞	1	6	10	1	4	9	4	35
	四国大学賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	入 選 数	17	83	122	14	63	103	54	456
	計	20	91	134	17	69	114	60	505
	入 選 率	69.0	56.5	52.5	85.0	70.4	51.6	60.6	57.2
選 外	落 選 数	9	70	121	3	29	107	39	378
	落 選 率	31.0	43.5	47.5	15.0	29.6	48.4	39.4	42.8
無 審 査 出 品	審 査 員	3	3	3	3	3	3	3	21
	無 鑑 査	2	3	5	1	2	2	2	17
	計	5	6	8	4	5	5	5	38
展 示 数		25	97	142	21	74	119	65	543

第 27 回放美展公募規定

区分	部門	日本画	洋 画	写 真	彫 刻
書類受付期限		平成 31 年 4 月 13 日（土）			
搬入日		平成 31 年 4 月 29 日（月）			
搬入場所		あわぎんホール（県郷土文化会館）3 階展示室			
審査日		平成 30 年 4 月 29 日（月）			
審査員		中西 芳雄 日浦 猛史 坂 容子	露口 敏幸 西川 周三 鈴木 敬子	橋本 圭祐 井藤 光章 上野 照文	居上 真人 武田亜希子 鎌田 邦宏
出品料		1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生は 1 点 1,000 円			
応募資格・出品制限等		・ 未公開作品に限る ・ 高校生以上 ・ 県内外不問 ・ 作品のみ送付は不可 ・ 1 人 3 点以内			
		・ 最小：額縁の幅を除く画面が 70cm × 47cm 以上 最大：額縁を含む縦、横の一辺が 130cm 以内 ・ 額装 ・ 裏面に吊り紐 ・ アクリル・ガラス等で画面を覆わない	・ 最小 20 号（版画は最小 10 号）～最大 50 号以内（ただし S 型は 30 号が上限） ・ アクリル・ガラス等で画面を覆わない（ただし、水彩画、版画はアクリルに限り可） ・ 額装 ・ 吊り紐	・ 単写真・組写真とも半切及び A3 から全倍サイズで、画面の長辺が 40cm 以上 90cm 以内 ・ スクエアサイズ（正方形）は 1 辺が 30cm 以上 50cm 以内 ・ 組写真は 1 パネル（90cm × 180cm 以内）に全作品を固定 ・ 作品はパネル貼りし、額装は禁止（ガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取り不可）	・ あわぎんホール（県郷土文化会館）のエレベーターに収容可能な大きさ ・ 100kg 以内 ・ 展示に危険を伴わないもの
入 賞		・ 放美賞 各部門 1 点 ・ 優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・ 四国大学賞 各部門 1 点（高校生・高専生（全学年）の入選作品から選出）			

区分	部門	美術工芸	書 道	デザイン
書類受付期限		平成 31 年 4 月 13 日（土）		
搬入日		平成 31 年 4 月 29 日（月）		
搬入場所		あわぎんホール（県郷土文化会館）3 階展示室		
審査日		平成 31 年 4 月 29 日（日）		
審査員		橘 惠 森 明治 斎藤 和彦	伊丹 東龍 上田 輝芳 荒井 彭仙	福井 章 坂野美恵子 四十宮隆志
出品料		1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生は 1 点 1,000 円		
応募資格・出品制限等		・ 未公開作品に限る ・ 高校生以上 ・ 県内外不問 ・ 作品のみ送付は不可 ・ 1 人 3 点以内		
		・ 木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・ 立体作品は縦・横・奥行がそれぞれ 100cm 以内で、125,000 立方cm 以内 ・ 平面作品は縦 180cm・横 150cm 以内で、22,500 平方cm 以内 ・ 展示可能な用具を必ずつけ、前後がわかるように明示すること	・ 0.85 平方m 以内（例 / 半切、半切十半切 4 分の 1、全紙 2 分の 1） ・ 額装 ・ 裏面に吊り紐 ・ 申込書に種別を、裏面に釈文を記載のこと	・ グラフィックデザインに限る ・ B1 サイズ（728mm × 1,030mm）で厚さ 5mm から 75mm 以内、外枠（幅 20mm 以内）を含めた重さが 5kg 以内 ・ ガラス額装は不可 ・ 実在の商品名、会社名の使用は不可（著作権、肖像権に抵触しないこと） ・ 裏面に吊り紐
入 賞		・ 放美賞 各部門 1 点 ・ 優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・ 四国大学賞 各部門 1 点（高校生・高専生（全学年）の入選作品から選出）		

注 1) 入選数は出品点数に応じた規定数とする

2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること

3) 所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担（梱包料金を含む）で返送する

第74回徳島県美術展記録



会 期 第1期 令和元年 10月5日(土)～13日(日)
 日本画・洋画・彫刻・美術工芸・デザイン
 第2期 令和元年 10月9日(水)～16日(水)
 写真・特別、招待、賛助(日本画・洋画・彫刻・美術工芸・デザイン)
 第3期 令和元年 10月15日(火)～22日(火) 書道
 時 間 9:30～17:00
 会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

日本画

[審査員] 宮北 千織
 [特別出品] 西野 和男 岡 英彦
 [招 待] 土方るみ子 土井 洋子 中西 芳雄 日浦 猛史 柳田 一子
 反田 卓 坂 容子
 [無 監 査] 梶浦 千瑞
 [特 選] 大塚さや香(徳島市長賞)
 富永 博子
 [準特選] 石原 千鶴 宮越 千佳 水田 貴子

[奨励賞]	森崎 雅子	近藤 芳治	藤井 吉信		
[入選]	新居左よ子	中本 美来	大岩 未夢	清瀬 芽生	大久保楨宙
	仁木蒼一郎	藤原 真美	清水佳代子	井上 弘子	西岡 ちほ
	久保 守近	新居麻里子	植田 忠生	鍋島治世子	秋月ヒサヨ

洋画

[審査員]	湯山 俊久				
[特別出品]	梶田 務	平木 美鶴			
[招待]	清水 亟悞	露口 敏幸	長尾 弘久	西川 周三	玉田 秀子
[無鑑査]	林 敏雄				
[賛助出品]	松川 寛	中辻奈美枝			
[特選]	遠藤 誠一 (徳島新聞社長賞)				
	嵯峨 潤三	板井 義典			
[準特選]	杉本 祥子	西村茉莉杏	伊勢 浩章	鈴木 敬子	加川由紀子
	手塚てる子				
[奨励賞]	一森 星南	賀川紀美子	藤井 香世	和田 弘彰	馬淵 尚子
[入選]	大津 憲文	川上 晴美	堀田 豊子	近清 哲夫	和田 寿子
	米田和希子	大坪潤一郎	田村 秀子	植村 美優	前野 亮治
	枋谷日菜子	小川 美輝	久保 和子	内田 満	林 静代
	押栗 洋子	岩井 千晴	矢野 和代	二條 均	栗飯原満子
	大南 芳子	瀬川 政子	花菱 良一	嶋田 雅子	松江 直子
	三木田眞由美	佐阪 優月	馬淵 博子	田浦 佳江	富本 勝子
	浅井 清司	川人 健司	三井 均	服部 和代	原 たず
	岩井 春美	天野 利明	上田 幸子	河本多恵子	宮崎富美子
	小浜 敏也	宮本 典子	中村 俊夫	岡田 典子	富浦 道子
	笹田 義宏	藍谷 浩平	姫田 正義	川中比沙子	田中 敏雄
	青木 幸子	加賀谷愛美	佐藤 敬子	折目 早苗	河野 博匡
	藤本 誠子	小笠原秋子	早内 陽子	萩原 典子	小倉満智子
	福田 紀子	阿部 昌子	田村 克也	環 民子	三谷ミヤ子
	平本 美緒	田村 幸子	阿部 幸子	平野 幸子	吉岡 毅
	山田あけみ	宮内 一子	志摩 政照	犬伏美智子	大平 妙子
	長坂 芳子	尾田 稔子	中村 恵一	藤本眞佐子	前川 富子
	木村 尚美	土橋 正子	永野 耕一	日野 邦恵	眞野 尚枝
	新藤佐代子	伊勢谷昭博	安友三恵子	工藤 桂子	石幸 忠雄

黒島 貞子	大久保佐智子	丸本 志穂	藤井 博之	船本三千夫
榊 和也	大西 文代	小笠 正明	西沢 幸広	清水 政吉
黒川 彰子	菊本 静子	高木 宏	七田 理彩	定國 茉奈
鳥井 衣里	鹿山 公弘	天野 功治	森 幸江	西條 敏夫
美馬 潤子	高橋 幸二	岸本 花子	信田 幸一	岡崎 恵
吉坂 忠幸	仁木 英子	鈴江空里子	川口 均	

写 真

[審 査 員]	立木 義浩				
[特別出品]	櫛 渕 魏	上野 照文			
[招 待]	木田 英之	勝西 雅夫	三好 和義	森 賢一	橋本 圭祐
	前浦 芳久	林 敏彦	井藤 光章	増田 寿	柳本 正
	大和 健司	船越 正文	堀淵 完治	岩崎 英昭	久保 英樹
	堀口 幸男	森住 博			
[無 鑑 査]	平野 史子	川真田慶治	阿部 啓三	宮本 幸治	
[特 選]	野藤みきよ (四国放送社長賞)				
	林 和彦	廣野美知子	野藤 敏美		
[準 特 選]	多川 静守	遠藤 博敏	原 嘉久仁	大島 茂信	鎌田 克臣
	大野 光祥	山下 修司	中岸 信彦	秋山 修一	
[奨 励 賞]	大津 勝治	岸田 義市	板東美智代	加藤 郁代	増田 実
	富岡佳代子	阿部美智子	佐治 孝		
[入 選]	紅露 隆	大津 勝治	稲井 建司	櫛 渕 紳哉	岡本 満幸 ⁽²⁾
	梅本 貞範	遠藤 博敏 ⁽²⁾	的場 中	吉村 敏嗣	原 嘉久仁
	林 和彦	幾田 茂仁 ⁽⁴⁾	木内 正大 ⁽²⁾	寺内 靖	岸田 義市
	板東美智代	大塚 尚 ⁽³⁾	松浦 孝	小原 英児 ⁽²⁾	宮前 稔
	鈴江 純史	鈴江久美子	二階 博司	谷 嘉明 ⁽³⁾	谷 賢太郎
	八木 英一	増田 実	竹内 一雅	水口 ゆみ	井上 秀人
	川西 明雄 ⁽³⁾	山上 堯	山上 道子	西岡まゆみ ⁽²⁾	宇原由里子
	森平 重利 ⁽²⁾	林 好一	板東よしお	大森 孝克	佐野 和史
	高曽根信義	水口 義行 ⁽²⁾	野村 和夫	稲岡 武	福永 豊
	福井 純子	福井 邦博 ⁽²⁾	団 芳男	庄野 里美 ⁽³⁾	福原 敏雄 ⁽²⁾
	山根 茂美	原田 愛	中岸 信彦 ⁽³⁾	喜多 昌弘	辺見 博子
	賀川 泰廣 ⁽²⁾	山田 喜吉	大栗 隆夫	森住 孝義	多田 安希
	須原 仁志	三谷美津子	野田 賢	秋山 修一 ⁽³⁾	谷 ひづる ⁽³⁾

岡本 早苗	大林 義治 (2)	喜屋武美沙子	おどみ岐諷	土橋 貴明
井上 憲治 (2)	野藤みきよ (2)	野口 佳一	田村 泰弘 (2)	熊谷美智子 (2)
福田 勉 (2)	高橋 一恵	中野みどり	佐治 孝	

彫 刻

[審 査 員]	黒川 弘毅				
[特別出品]	河崎 良行	佐藤 隆	松永 勉	井下 俊作	
[招 待]	鎌田 邦宏	居上 真人	上月 佳代	武田亜希子	木村 大志
[特 選]	大貝 寿子	(徳島県美術家協会会長賞)			
[準 特 選]	鈴江空里子	中川 伸一			
[奨 励 賞]	二宮 治夫	東 光司			
[入 選]	伊川 昌宏	小林 正則	大貝 貞雄	吉田 陽子	横畠 寛
	筒井 豊	高丸 公相	鈴江空里子	近藤 美暁	

美術工芸

[審 査 員]	大樋 年雄				
[特別出品]	七條猪三郎	松下 慶一			
[招 待]	松下 雄介	多智花佐代子	森 賢一	橘 恵	犬伏 絢
	斎藤 和彦	森 明治	藤井 哲信		
[無 鑑 査]	田村栄一郎				
[賛助出品]	中川 存	矢野 款一			
[特 選]	福本美智代	(徳島県知事賞)			
	松本 宏				
[準 特 選]	四十宮年代	丸居 哲雄	宇坂 利文	家形笑美子	
[奨 励 賞]	近藤佐起江	田村 進	西内 貞二		
[入 選]	中西 達也	吉田 陽子 (3)	平田志保子	長尾 敏子	宮本 薫 (2)
	高橋 輝美	大貝 寿子 (2)	高瀬 裕司	喜多 岩夫	高橋 正昭
	尾藤 芳尚	田村 公子	四宮 千代	藤中 教代	秦 信子
	手塚 健一	出口 清治	大井川良江	遠藤 好子	前野 亮治
	板東 啓子	橋本 正子	富永 裕子	横井嘉世恵	平尾 静子 (2)
	阿部 能則	島本 政子	近藤美佐子	川島 千鶴	増田 裕子
	大貝 貞雄	上田 優	越 由子	吉野 由紀	亀井 良子

松原 敦子	小林 鳳美	仁田 和子	小林 清重	三橋 玄児
河野 美枝	平瀬 進也	細川ひとみ	高橋 文子	梅山 博司
大内 敏男	武田 潤子	元井 真紀	田中木美子	山本 由実
小笠原久美子	中山 愛子	久保 英樹 ⁽³⁾	向 紫	金澤 博子
近藤佐起江	青木 壽美	楠 博子	鳥井 明子	眞鍋 謙弘 ⁽²⁾
佐治 孝	杉原 悦子 ⁽²⁾	前川 政秀		

書 道

[審 査 員]	吉澤 鐵之	高木 厚人	永守 蒼穹		
[特別出品]	荒井 彭仙	隅田 英二			
[招 待]	清水 桂月	中谷 史子	川上 虹泉	日下 溪翠	竹田 和代
	山口 華城	藤若 美風	武市 鳴雲	中尾 勝子	富久 鳴泉
	永松 春苑	島田 小園	坂本 霄風	浜 佳香	多田 清芳
	玉城 乾香	薄田 玲泉	能仁 華瑤	高田 青蓮	三浦富美代
	宇山 泰鳳	亀石 文苑	岩本 志豪	林 桂翠	山口 幽径
	米澤 東籬	戸出 芳泉	平岡 幽琴	宮守 崇流	詫間 勝陽
	向井 京子	川村 春琴			
[無 鑑 査]	谷本 藍泉	林 美雪	高瀬 大峯	富永 美祥	辻 紅雲
	古川 秀蕙	河野 多美			
[賛助出品]	東 南光				
[特 選]	今治 宏美 (徳島県議会議長賞)				
	石川 翔子	井野めぐみ	忠津 安子	田中つぐみ	糀 真理子
	村田登志子	衛藤 隼斗			
[準 特 選]	中村 美子	矢部 知子	青木 博美	松永 浩子	馬居美智恵
	竹内やす子	久積希実子	上田 久恵	杉本 裕子	町田 哲子
	木田 史子	玉城 若菜	中川 富量	村田 泰輝	
[奨 励 賞]	佐野 陽子	澤本 鈴美	丸岡 由美	河野 由紀	八木 澄江
	片山 芳明	脇坂 優	井上 彰夫	伊月 愛子	板東 杏樹
	岸 緑	吉田さい子	島尾 明良		
[入 選]					
漢字の部					
	中西 克之	谷 令子	牧野ヨシミ	久米 利典	林 幸子
	折野 茂幸	大下 富江	大野シゲ子	上野 益代	岡本美津代
	中川恵美子	奥田 文子	村部 幸子	陶久 房枝	宮本 暁美

三崎美佐代	久積富美子	杉本 妙子	西改 俊子	柳本 真弓
四宮 仁美	板東 一男	磯川 味佳	恵 美恵子	一宮 明美
荒井 和子	田中 利子	安丸 順子	野村佳余子	眞尾ハナコ
岡部ひとみ	岩本 義浩	河野久美子	郡 秋江	東條 裕子
木村 礼子	石井 瞳	吉平 順子	檜原 知明	後藤 佳美
市原 美希	稲木 裕美	巽 由紀	舟岡加奈子	土井 和也
山本 安子	山口 幸子	鎌谷 幸代	谷 弘美	仁木 輝実
西岡田さつき	吉村 敬子	鳩成 広美	熊代 厚子	阿部 千明
安友 彰子	近藤 美香	佐々 京子	楠本 俊枝	藤山真由里
矢部 育実	後藤 紀代	大塚 洋子	河見 忠信	七條 郁子
森川のぞみ	堀江 孝己	伊達三智子	松岡 順子	高柳 由美
園尾 淑子	仁木 彩愛	瀬山奈緒美	大東 静代	田中 夕貴
島 智子	多田みどり	竹内 綾菜	後藤真里奈	香川百々花
多智花郁子	森口 月美	小笠 英文	先山 明美	細井 守
上田美千代	北村 浩子	三谷 展子	島 利子	井上 晏野
近藤 紀子	佐野恵美子	巽 祐子	中野 愉美	見世亜紀子
若木 恭子	秦 知美	川田多賀子	三好 恵子	稲井 知子
春藤 真紀	田上 洋子	山下弥栄子	弘田 敏章	鈴木エリ子
新見 辰馬	柏尾美恵子	井上 公子	日野出夏穂	吉田 憲弘
伊藤 輝	吉川 正夫	三好 元子	井内 久子	妹尾 寛子
櫻木貴美子	大倉 恭子	井元 京子	寺田 美穂	山崎 真美
浅川 陽子	森本真由美	田中 玲子	藤永 真里	斎藤 節子
福家 佳余	中村 絢子	西川 実希	野口 有香	深薙 美雪
谷本真由美	佐藤 美和	吉岡 逸子	田村 元帥	由宇 典代
畠山ゆかり	佐渡 佳子	谷内 直美	佐竹 夏実	吉田 幸代
佐々木泰明	池内 愛美	松村 就子	並木 桃果	斎藤須美代
西 朱理	田中 偉嗣	田中 育子	丸岡 真弓	守田 禎子
山城美三子	中西 淑子	山中 佳子	籙 品子	市原マサ子

篆刻の部

田渕 勲	横田 雅夫	仁木恵美子	松村 史子	奥谷キクヨ
小林 義治	青木 幸代	蓑毛 真琴	宮脇 郷子	中尾三智子

仮名の部

内田 道幸	笠原小夜子	内田 麻紀	藤井三樹子	坪井 佳代
田岡佐記子	寒田 祐奈	畠山 政子	山橋不二子	三宅 葉子
和泉かず子	大久保雅子	高木美賀子	加村喜美子	内田美代子
新居 洋子	井上小百合	住友 裕子	遠藤 由子	背川 章子

松本由希子	野木 友美	稲江 司子	原口 栄子	廣瀬 久代
森 裕美子	豊田 直美	佐野 久美	濱口須美子	仁井 和美
石橋 幸恵	一ツ松真弓	豊岡真由美	沖野 道代	山蔭 和代
赤川久美子	佐川 公子	倉本 節子	井上 まり	吉田 純
山本 美幸	阿部 博子	寺尾 俊通	藤原 育代	笹田 真里
出口末喜子	鈴江美音子	折野 佳子	伊藤 秀子	斎藤 裕子
坂本 敬子	佐藤 佳子	島田 利枝	森崎佐和子	田村富士子
吉岡 三枝	森本 明美	向井 境子	古谷 和代	山本 愛美
三原 明美	長野 勇輝	長尾 美希	篠賀 知代	平田 晶子
三好 育子	岩佐 万葉	森 眞美	林 英子	日下壽美子
平尾 卓美	今津 英子	土佐 朱美	尾田 知恵	濱口 恵
河野さち子	馬地 理恵	中村 公子	松下 智子	賛田美恵子
山本 恵子	池内 愛美	宮内 礼子	関根 史子	芳田 知子
吉田 裕美	近藤真千子	喜多美千代	中筋 良江	

近代詩文の部

朝三 和子	荒井 弥和	生野 久美	居和城幸代	遠藤玻都恵
岩崎 麻美	大井 多栄	大石 正	大西千鶴子	岡崎 啓子
小野 幸久	樫山 正代	川下小夜子	川端喜美子	川又 敏香
金城 泰子	栗林 和江	栗山 弘子	幸田 康代	児玉 幸子
佐藤 恵子	清水美津子	高橋 三紀	高橋美知江	武市 絢子
武市 美穂	武田 淳子	谷本富美世	玉城 安和	田村 知恵
長尾由美子	長原 七与	仁木シモエ	野田 満代	坂東 裕美
日野美佐子	藤村 良枝	藤本 優子	藤原 一子	布施 凜菜
正見 千恵	松村 雅子	丸田 三恵	向井 通子	森 繁子
森岡嗣雅子	森本知世子	森本 陽子	山本 勇	横関久美子
和田 悦代	和田富美子	若林 節子	中田 昇吾	大津 明美
竹川 秀穂				

前衛の部

阿部 公恵	長崎 香	大胡恵里香	大胡 真美	前川わかな
仁尾 みや	水野 知子	林 歩花	近藤 晴香	齋藤 茱白
中野 妃萌	中川 博雅	佐藤由紀代	義富 博正	大坂 昌代
大久保 怜	嵯峨 衣織	梶川 佳奈	永井 厚子	大西 英徳

デザイン

[審査員] 居山 浩二

[特別出品] 田中 一郎 坂野美恵子

[招待] 斎藤 繁次 敷島のり子 斎藤 剛 四十宮隆志 沢口 功
斎藤志津子

[特選] 岡田 典子 (徳島県教育委員会教育長賞)
坂賀 泉美

[準特選] 吉村 敏嗣 岡 春菜 斉藤 信子

[奨励賞] 佐藤あすか 西尾 歩未 香川 美玖

[入選] 山崎 百絵 塩崎 智絵 吉村 敏嗣 中西ほのか⁽²⁾ 高力 理加
檜本 千晶 喜田優希菜⁽²⁾ 大久保玲風 中野 果梨⁽²⁾ 谷崎 和広
小倉 知恵 熊谷美智子⁽²⁾ 田中 乃愛 前田 汰星 栗飯原早希
栗飯原 稜 佐藤あすか 山野井宏宗 谷崎こころ 倉橋 千夏
信田 幸一 小村 智美 松島 早紀 田中 公代 南 絵里佳
西浦 里磨 井原 亘

第 74 回徳島県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		38	259	621	23	133	690	65	1,829
出 品 者 数		36	209	168	22	97	410	43	985
入 賞 ・ 入 選	特 別 賞	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(7)
	特 選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準 特 選	3	6	9	2	4	14	3	41
	奨 励 賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入 選 数	15	119	112	9	72	330	31	688
	計	23	133	133	14	81	365	39	788
	入 選 率	60.5	51.4	21.4	60.9	60.9	52.9	60.0	43.1
選 外	落 選 数	15	126	488	9	52	325	26	1,041
無 審 査 出 品	特別出品	2	2	2	4	2	2	2	16
	招 待	7	5	17	5	8	32	6	80
	無 鑑 査	1	1	4	0	1	7	0	14
	賛助出品	0	2	0	0	2	1	0	5
	遺作出品	0	0	0	0	0	0	0	0
計		10	10	23	9	13	42	8	115
展示数		33	143	156	23	94	407	47	903

※ 各部門の特選数は特別賞 1 点を含む

第 74 回徳島県美術展公募規定

部門 区分	日本画	洋 画	写 真	彫 刻
搬入日	9月22日(日)	9月21日(土)	9月29日(日)	9月22日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室			
審査日	9月22日(日)	9月22日(日)	9月29日(日)	9月22日(日)
審査員	宮北 千織	湯山 俊久	立木 義浩	黒川 弘毅
出品料	協会員1点目3,500円 その他の方4,500円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円			
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない 最小が額縁の幅を除いた画面の縦横の長さが70.0センチメートル×47.0センチメートル以上で、最大が額縁の幅を含めた縦横の一边の長さが190.0センチメートル以内 堅牢なるパネル等を使用の上、額装とする パネル等の裏面には吊り紐をつけること パネルや画面が額より出ないこと アクリル・ガラス等で画面上を覆わないこと(ただし、水彩画、版画はアクリルに限って認める) 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 洋画 20号(72.7cm×50cm)～60号(130.3cm×97cm)までとする S型は30号(91cm×91cm)までを上限とし、版画は八つ切額(30.3cm×24.2cm)以上とする アクリル、ガラス等で画面上を覆わないこと(ただし、水彩画、版画はアクリルに限って認める) 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 単写真、組写真とも半切(A3含む)から全倍(90cm×60cm) 画面の長辺は40cm以上90cm以内 スクエアサイズ(正方形)は一辺が30cm以上60cm以内 組写真は90cm×180cm以内に全作品を固定(不安定な作品の場合受け付けが来ないことがあります) 作品は必ずパネル貼りし、額装及びガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取りは不可 デジタル写真の合成・加工の出品制限はしませんが、出品票などにその旨を必ず明記すること。入賞などの場合は元データなどの提出を求めることがあります(自然風景、ネイチャーなどは基本、合成・加工などは禁止します) 高さ2×幅1.82×奥行1.5m以内、重量200kg以内 (上記サイズを超える作品は屋外展示とする) 材料等は自由、展示可能な作品に限ります			
入賞	特選 2点 (特別賞 1点) 準特選 3点 奨励賞 3点以内	特選 3点 (特別賞 1点) 準特選 6点 奨励賞 5点以内	特選 4点 (特別賞 1点) 準特選 9点 奨励賞 8点以内	特選 1点 (特別賞 1点) 準特選 2点 奨励賞 2点以内

部門 区分	美術工芸	書 道	デザイン
搬入日	9月22日(日)	9月27日(金)	9月29日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室		
審査日	9月22日(日)	9月28日(土)	9月29日(日)
審査員	大樋 年雄	吉澤 鐵之・高木 厚人・永守 蒼穹	居山 浩二
出品料	協会員1点目3,500円 その他の方4,500円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない ・立体作品は、50cm立方換算以内(たて×よこ×おくゆきが125,000立方cm以内)とする 但し、たて100cm・よこ100cm・おくゆき100cm以内とする ・平面作品は、150cm平方換算以内(たて×よこが22,500平方cm以内)とする 但し、たて180cm・よこ150cm以内とする 木、竹、金工、陶磁、漆、染色、織物、人形、ガラス等とし、展示できる用具を必ずつけることとする 半切又は全紙1/2以上、仕上がり面積1.47㎡(16平方尺)以内で縦・横自由 卷子・帖は40cm×300cm以内 篆刻は印影とし、タテ39cm×ヨコ30cm以内の額装に限る (例) 61cm(2尺)×242cm(8尺) 枠張りに限る 79cm(2.6尺)×181cm(6尺) " " 91cm(3尺)×161cm(5.3尺) " " 121cm(4尺)×121cm(4尺) " " 半切・全紙1/2・連落まで額装アクリル入りでもよい 無鑑査以上の出品者は半切・全紙1/2以内、横幅90cm以内とする 次の部門に属する作品とする ①漢字(臨書不可)・篆刻(模刻不可) ②仮名(臨書不可) ③近代詩文書 ④前衛(文字を表現したもの) それぞれ釈文をつけることとする B1サイズ(728×1,030mm)で厚さ5～75mm、外枠(幅20mm以内)を含めた重さが5kg以内とする イラストレーション・グラフィックデザインとし、原画の材質は問わないが、ガラス額装は不可 実在の商品名、会社名等は不可とし、著作権・肖像権に触れないこと 吊り紐をつけることとする		
入賞	特選 2点 (特別賞 1点) 準特選 4点 奨励賞 3点以内	特選 8点 (特別賞 1点) 準特選 14点 奨励賞 13点以内	特選 2点 (特別賞 1点) 準特選 3点 奨励賞 3点以内

徳島県美術展審査員一覧

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46回まで彫塑)
1		委 員	野 間 仁 根 蒙 永 三郎	委 員	
2		大 栗 旌 仸	野 間 仁 根	上 田 備 山	太 坂 田 三 郎 東 三 郎 美
3		委 員	伊 原 宇三郎	同 上	太 坂 田 三 郎 鹿 東 三 郎 美
4		委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5		上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	太 坂 田 三 郎 東 三 郎 美
6		西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7		山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8		池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	太 坂 田 三 郎 東 三 郎 美
9		水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10		管 楯 彦	鈴 野 信太郎 木 仁 根	同 上	同 上
11		奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12		浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13		小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	辻 坂 東 三 郎 美
14		秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15		奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16		同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17		松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18		矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周三郎
19		中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20		曲 子 光 雄	桂 ユキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21		沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22		堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23		松 岡 政 信	山 下 大五郎	同 上	井 上 武 吉
24		山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄
25		奥 村 厚 一	斉 藤 真 成	同 上	原 武 典
26		梶 喜 一	島 村 三七雄	同 上	掛 井 五 郎
27		上 原 卓	高 田 誠	伊 藤 知 己	松 村 外次郎
28		黒 光 茂 樹	中 間 冊 夫	岩 宮 武 二	小 畠 広 志
29		松 岡 政 信	島 田 章 三	同 上	保 田 春 彦
30		黒 光 茂 樹	田 中 岑	岩 宮 武 二	篠 崎 明 雄
31		河 合 健 二	田 中 忠 雄	同 上	江 口 週
32		長谷川 青 澄	山 口 長 男	岩 宮 武 二 富 武 二 藤 知 己 萩 山 武 二	一 色 邦 彦
33		松 岡 政 信	吉 井 忠	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
34		山 岸 純	小 西 保 文	岩 宮 武 二	清 水 九兵衛
35		樋 笠 数 慶	荻 太 郎	同 上	桜 井 祐 一
36		坂 口 麻沙子	吉 井 淳 二	岩 宮 武 二	土 谷 武
37		下 田 義 寛	野見山 暁 治	同 上	山 本 正 道

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
鬼塚信之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭 山 南 木 ・ 織 田 子 青	
同 上	手 島 右 卿	
鬼塚信之 新田信太郎	同 上	
鬼塚信之	小 坂 奇 石	
明 石 朴 景	辻 本 史 邑	
会 田 裕 宣	織 田 子 青 (漢) ・ 出 口 草 露 (仮)	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近 藤 悠 三	荒 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・後藤田 香 石 田 中 双 鶴・田 中 栢 翠	
平 松 宏 春	同 上	
同 上	荒 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・後藤田 香 石 田 中 双 鶴・田 中 栢 翠	
大 西 忠 夫	荒 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・後藤田 香 石 田 中 双 鶴・田 中 栢 翠	
明 石 朴 景	同 上	
平 松 宏 明	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平 松 宏 春	同 上	
内 田 邦 夫	同 上	
山 脇 洋 二	同 上	
槻 尾 宗 一	同 上	
山 脇 洋 二	荒 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・田 中 栢 翠 富 永 眉 峰	
藤 本 能 道	同 上	
三 井 安蘇夫	同 上	金 野 弘
六 角 颯 雄	同 上	大 智 浩
鈴 木 貫 爾	同 上	早 川 良 雄
田 村 耕 一	同 上	原 弘
山 脇 洋 二	荒 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・田 中 双 鶴 田 中 栢 翠	田 中 一 光
浅 野 陽	同 上	奥 野 秀 雄
前 田 泰 次	同 上	灘 本 唯 人
山 脇 洋 二	同 上	大 高 猛
中 村 光 哉	荒 井 天 鶴・久 保 幽 香・讃岐泰泉・田中双鶴 田 中 栢 翠・富 永 眉 峰・新 居 藍 州	福 田 繁 雄
山 脇 洋 二	同 上	永 井 一 正
田 村 耕 一	荒 井 天 鶴・田 中 栢 翠 富 永 眉 峰・西 岡 双 楚・田 中 栢 翠	山 城 隆 一
田 村 耕 一	荒 井 天 鶴・田 中 栢 翠 富 永 眉 峰・西 岡 双 楚・田 中 栢 翠	粟 津 潔

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46回まで彫塑)
38		同 上	須 田 寿	高 田 誠 三	清 水 九兵衛
39		同 上	斉 藤 真 一	同 上	城 田 孝一郎
40		下 保 昭	津 高 和 一	岩 富 武 三	清 水 良 治
41		橋 田 二 朗	小松崎 邦 雄	奈良原 一 高	淀 井 敏 夫
42		松 本 哲 男	国 領 經 郎	岩 宮 武 二	木 津 一 夫
43		山 岸 純	利根山 光 人	三 木 淳	橋 本 省
44		平 川 敏 夫	赤 穴 宏	高 田 誠 三	山 崎 猛
45		福 井 爽 人	桜 井 寛	三 木 淳	土 谷 武
46		岩 沢 重 夫	大 森 朔 衛	同 上	峯 田 敏 郎
47		穂 田 一 稗	谷 本 重 義	立 木 義 浩	小 島 弘
48		田 淵 俊 夫	大 沼 映 夫	杵 島 隆	建 畠 覚 造
49		中 路 融 人	馬 越 陽 子	同 上	綿 引 道 郎
50		下 田 義 寛	三 栖 右 嗣	奈良原 一 高	古 島 実
51		工 藤 甲 人	中 根 寛	斉 藤 康 一	恩 田 静 子
52		那波多目 功一	松 樹 路 人	細 江 英 公	石 井 厚 生
53		那 須 勝 哉	藤 田 吉 香	高 田 誠 三	香 浦 有 爾
54		内 田 あぐり	奥 谷 博	同 上	小 林 陸一郎
55		松 尾 敏 男	佐々木 豊	大 石 芳 野	日 原 公 大
56		山 崎 隆 夫	大 津 英 敏	同 上	石 黒 鏑 二
57		岩 本 和 夫	山 本 貞	細 江 英 公	原 武 典
58		大 矢 紀	福 島 瑞 穂	江 成 常 夫	菅 原 二 郎
59		竹 内 浩 一	中 山 忠 彦	大 石 芳 野	米 林 雄 一
60		小 嶋 悠 司	絹 谷 幸 二	江 成 常 夫	北 郷 悟
61		宮 廻 正 明	山 本 文 彦	同 上	鈴 木 久 雄
62		能 島 和 明	島 田 鮎 子	英 伸 三	中 垣 克 久
63		雲丹亀 利 彦	桜 井 寛	田 沼 武 能	林 武 史
64		西 田 俊 英	塗 師 祥一郎	同 上	津 田 裕 子
65		岡 村 倫 行	金 山 佳 子	三 好 和 義	建 畠 朔 弥
66		宮 いつき	大 津 英 敏	江 成 常 夫	深 井 隆
67		小 山 硬	笠 井 誠 一	大 石 芳 野	湯 村 光
68		土 屋 禮 一	佐 藤 泰 生	大 石 芳 野	保田井 智 之
69		上 村 淳 之	池 田 清 明	織 作 峰 子	村 井 進 吾
70		中 島 千 波	堀 研	江 成 常 夫	三 沢 厚 彦
71		中 野 嘉 之	久 野 和 洋	三 好 和 義	木 戸 修
72		村 岡 貴美男	森 本 勇	大 西 みつぐ	國 安 孝 昌
73		西久松 吉 雄	室 越 健 美	大 石 芳 野	井 田 勝 己
74		宮 北 千 織	湯 山 俊 久	立 木 義 浩	黒 川 弘 毅

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
山下 恒 雄	荒 井 天 鶴・田 中 双 鶴・田 中 栢 翠	田 中 一 光
同 上	同 上	長 友 啓 典
浅 野 陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿・高原清泉 田中双鶴・田中栢翠・長江清幽・新居藍州・西岡楚峰	亀 倉 雄 策
中 村 光 哉	明 石 春 浦・坪 井 正 庵	伊 藤 憲 治
浅 野 陽	桜 井 琴 風・黒 野 清 宇	サイトウ・マコト
山下 恒 雄	大 岡 皓 崖・山 田 伍 雲・西 野 象 山	佐 藤 晃 一
三 浦 小平二	花 田 峰 堂・小 山 素 洞・東 地 滄 厓	河 北 秀 也
松 永 勲	浅 見 綿 龍・森 本 妙 子・加 藤 大 碩	松 永 真
山下 恒 雄	近 藤 摂 南・東 山 一 郎・中 野 北 溟	浅 葉 克 己
島 田 文 雄	谷 村 憲 齋・植 村 和 堂・太 田 義 久	勝 井 三 雄
大 西 長 利	安 原 皐 雲・池 田 桂 鳳・金 子 卓 義	五十嵐 威 暢
山下 恒 雄	鈴 木 桐 華・西 本 支 星・金 子 聰 松	青 葉 益 輝
島 田 文 雄	尾 崎 邑 鵬・井 茂 圭 洞・大 井 錦 亭	松 永 真
中 井 貞 次	栗 原 蘆 水・榎 倉 香 邨・種 谷 扇 舟	安 西 水 丸
栗 木 達 介	甫 田 鷄 川・小 山 やす子・石 飛 博 光	U. G. サトー
宮 田 亮 平	杭 迫 柏 樹・藤 木 正 次・吉 田 成 堂	早 川 良 雄
松 永 勲	津 金 孝 邦・池 田 桂 鳳・松 永 暘 石	戸 田 正 寿
竹 内 順 一	田 中 節 山・村 上 俄 山・黒 田 玄 夏	杉 浦 康 平
栗 木 達 介	宮 崎 葵 充・赤 江 華 城・金 子 卓 義	秋 山 孝
中 井 貞 次	星 弘 道・宮 重 小 蘭・西 野 象 山	遠 藤 享
島 田 文 雄	吉 川 蕉 仙・清 水 透 石・作 田 英 嗣	中 村 誠
竹 内 順 一	岩 井 韻 亭・光 宗 道 子・大 井 錦 亭	小 島 良 平
宮 田 亮 平	伊 藤 天 游・井 茂 圭 洞・田 岡 正 堂	永 井 一 正
島 田 文 雄	稲 垣 菰 圃・横 山 煌 平・船 本 芳 雲	新 島 実
増 村 紀一郎	樽 本 樹 邨・東 山 一 郎・辻 元 大 雲	三 木 健
石 川 充 宏	真 神 巍 堂・前 島 泉 洲・長谷川 牧 風	松 井 桂 三
竹 内 順 一	鈴 木 春 朝・山 本 高 邨・砂 本 杏 花	河 北 秀 也
山下 了 是	大河内 仙 嶽・師 田 久 子・飯 高 和 子	勝 井 三 雄
大 樋 年 朗	土 井 汲 泉・舟 尾 圭 碩・百 瀬 大 蕪	佐 藤 晃 一
宮 田 亮 平	西 村 自 耕・岩 永 栖 邨・西 野 象 山	新 村 則 人
豊 福 誠	今 村 桂 山・横 山 煌 平・森 本 龍 石	福 島 治
若 山 裕 昭	渡 部 清・田 頭 一 舟・鈴 木 まつ子	秋 山 孝
山下 義 人	鬼 頭 墨 峻・吉 川 美恵子・小 竹 石 雲	伊 藤 豊 嗣
中 井 貞 次	西 嶋 慎 一・山 根 互 清・渡 部 會 山	松 下 計
若 山 裕 昭	新 井 光 風・村 上 俄 山・室 井 玄 聳	杉 崎 真之助
島 田 文 雄	伊 藤 一 翔・岡 田 直 樹・井之上 南 岳	川 上 佳 代
大 樋 年 雄	吉 澤 鐵 之・高 木 厚 人・永 守 蒼 穹	居 山 浩 二

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」で構成する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から2名の合計20名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社3名の計4名で構成する。事務局の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。
7. その他県展開催の下準備に関すること。

第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。

- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。

- (3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）

- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、審査員及び各部の会長。

- (2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得たもの。

（注）① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

- ② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。

第7条（審査）

審査は公開により行う。

第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

区 分	特 選	特別賞（特選の中から1点）	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	徳 島 市 長 賞	3	3 以内	規定数
洋 画	3	徳 島 新 聞 社 長 賞	6	5 "	"
写 真	4	四 国 放 送 社 長 賞	9	8 "	"
彫 刻	1	徳 島 県 美 術 家 協 会 長 賞	2	2 "	"
美術工芸	2	徳 島 県 知 事 賞	4	3 "	"
書 道	8	徳 島 県 議 会 議 長 賞	14	13 "	"
デザイン	2	徳島県教育委員会教育長賞	3	3 "	"

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

2. 入賞は1部門1人1賞とする。

第9条（表 彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、賞金
2. 準特選……賞状、賞金
3. 奨励賞……賞状、記念品
4. 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1 名
2. 徳島県議会議長賞 1 名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1 名
4. 徳島市長賞 1 名
5. 徳島新聞社長賞 1 名
6. 四国放送社長賞 1 名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1 名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料
3. 図録売り上げ代金及び広告料
4. 各種補助金

5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年 12 月に決算を行い、運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第 11 条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1 点目 3,500 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
2. 一般の方の出品料は、1 点目 4,500 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
3. 高校生の出品料は、1 点目 2,500 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
4. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は 1 点 3,500 円とする。

第 12 条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 600 円 | 当日 800 円 |
| 2. 高 校 生 | | 当日 300 円 |

第 13 条（附 則）

本要項の規定は昭和 61 年 9 月から実施する。

本要項の改訂、修正は運営委員の 3 分の 2 以上の議決を経てこれを行うものとする。

- | | |
|------------------|------|
| 平成 4 年 2 月 22 日 | 一部改正 |
| 平成 4 年 5 月 16 日 | 一部改正 |
| 平成 8 年 5 月 25 日 | 一部改正 |
| 平成 11 年 5 月 14 日 | 一部改正 |
| 平成 13 年 5 月 30 日 | 一部改正 |
| 平成 14 年 9 月 25 日 | 一部改正 |
| 平成 17 年 6 月 14 日 | 一部改正 |
| 平成 18 年 4 月 11 日 | 一部改正 |
| 平成 23 年 2 月 20 日 | 一部改正 |
| 平成 24 年 2 月 24 日 | 一部改正 |
| 平成 25 年 8 月 20 日 | 一部改正 |
| 平成 26 年 8 月 6 日 | 一部改正 |
| 平成 30 年 5 月 26 日 | 一部改正 |

第15回徳島県こども美術展



・絵画部門 特別賞

岩佐桃花・大久保さくら・糸田川裕雅・安藝颯真・西村真緒・羽坂志保

・書写部門 特別賞

近藤優莉乃・濱田真愛・鎌倉芽生・立石陸・上岡星奈・上原胡春

第 15 回徳島県こども美術展出品・入選等状況

会 期 10月18日(金)～10月22日(火・祝)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

入場者数 2,698 人

出品・入選等状況

【絵画部門】

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品						
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	入選 合計	入選率 (%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	入選 合計	入選率 (%)	佳作
		総数(特別支援)	(特別賞を含む)							総数(特別支援)						
小 学 生	1年	421(1)	2	2	26	43	73	17.34	50	197(1)	1	8	11	20	10.15	40
	2年	505(4)	2	2	21	56	81	16.04	56	204(5)	1	7	17	25	12.25	33
	3年	434(3)	2	2	23	45	72	16.59	44	214(2)	1	12	15	28	13.08	37
	4年	352(4)	2	2	20	32	56	15.91	67	180(2)	1	11	15	27	15.00	25
	5年	371(5)	2	2	23	24	51	13.75	60	151(4)	1	7	11	19	12.58	25
	6年	302(5)	2	2	21	26	51	16.89	48	140(3)	1	7	10	18	12.86	23
中 学 生	1年	227(0)	2	2	15	21	40	17.62	35	82(10)	1	6	6	13	15.85	16
	2年	124(2)	2	2	25	24	53	42.74	12	43(9)	1	4	4	9	20.93	13
	3年	107(2)	2	2	12	10	26	24.30	22	35(10)	1	4	7	12	34.29	11
	計	2,843(26)	18	18	186	281	503	17.69	394	1,246(46)	9	66	96	171	13.72	223

【書写部門】

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品						
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	入選 合計	入選率 (%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	入選 合計	入選率 (%)	佳作
		総数(特別支援)	(特別賞を含む)							総数(特別支援)						
小 学 生	1年	332(0)	2	2	9	22	35	10.54	33	327(0)	1	9	24	34	10.40	33
	2年	562(0)	2	2	15	38	57	10.14	56	601(0)	1	17	44	62	10.32	60
	3年	741(0)	2	2	20	50	74	9.99	74	1,477(0)	1	42	104	147	9.95	150
	4年	676(0)	2	2	18	44	66	9.76	67	801(0)	1	22	59	82	10.24	79
	5年	692(1)	2	2	19	47	70	10.12	68	662(0)	1	18	48	67	10.12	66
	6年	630(0)	2	2	17	42	63	10.00	62	685(0)	1	19	49	69	10.07	68
中 学 生	1年	265(0)	2	2	8	18	30	11.32	26	365(0)	1	10	26	37	10.14	37
	2年	237(0)	2	2	7	16	27	11.39	23	287(0)	1	8	21	30	10.45	29
	3年	213(0)	2	2	7	14	25	11.74	21	193(0)	1	6	14	21	10.88	19
	計	4,348(1)	18	18	120	291	447	10.28	430	5,398(0)	9	151	389	549	10.17	541

※県南巡回展(阿南市) 11月 9日(土)、10日(日)

※県西巡回展(阿波市) 11月23日(土・祝)、24日(日)

第74回徳島県展選抜展

会 期 令和元年 10月26日（土）～11月4日（月・祝）

ところ 吉野川市文化研修センター 多目的ホール

主催：NPO 法人吉野川市文化協会

協賛：徳島県美術家協会

協力：徳島新聞社



オープニングセレモニー

出 品 数

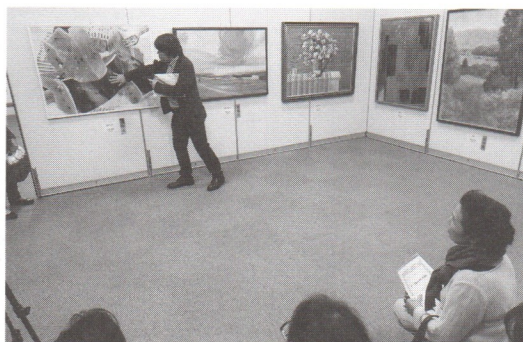
- 日本画 10 点
- 洋画 19 点
- 写真 31 点
- 彫刻 9 点
- 美術工芸 17 点
- 書道 54 点
- デザイン 7 点
- 合計 147 点

来場者数 1,134 人

ギャラリートークの様子



日本画



洋画



写真



彫刻



美術工芸



書道



デザイン

各部記録

(2019年1月～12月)

日 本 画 部

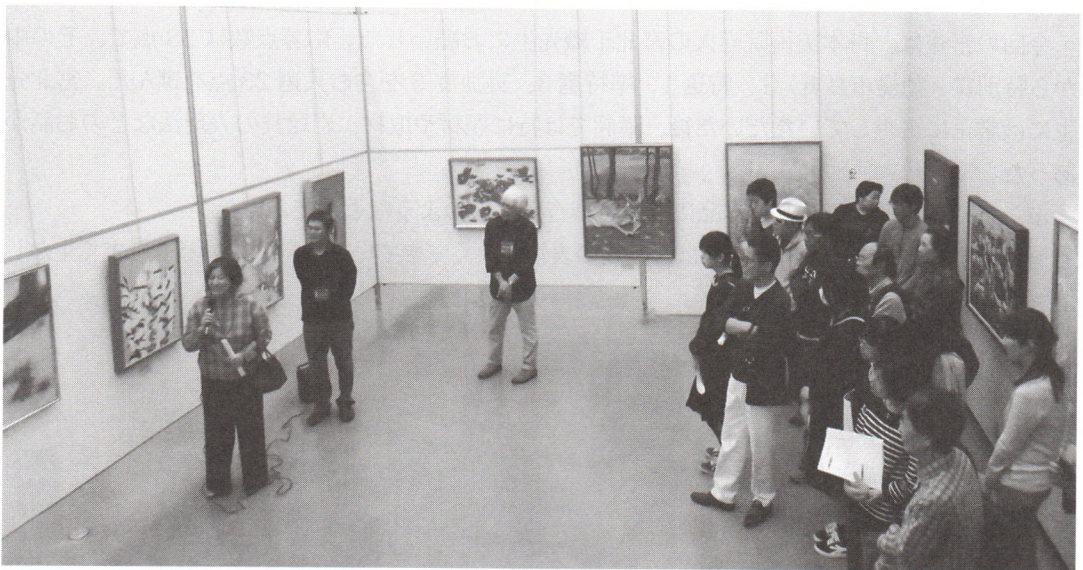
部 会 長 岡 英彦

年間展望

◎第 27 回放美展（5月2日～6日 あわぎんホール）

応募点数は 29 点で、昨年よりも 4 点増え、意欲的な作品が多く質の向上を感じた。その中から入選 17 点、入賞 3 点、計 20 点を選んだ。審査は 3 名の審査員の投票制で行い、賞については、審査員の合議により選出した。放美賞の水田貴子さん「過ぎゆく」はシンプルな蓮という題材を技術的にまとめ上げ、作者の時間的空間に対する思いが感じられた。優秀賞の藤原真美さん「自画像」は人物の輝きと幻想的な空間に若い作者の感覚の素晴らしさがあつた。四国大学賞の仁木蒼一郎さん「水の中では」は、ワニを題材にして、技術的にも色彩的にも大胆な表現だった。惜しくも選に漏れた作品の中にも作者の主張を感じさせるものが多かった。作者の思いが伝わってくる力強い作品を期待したい。ギャラリートークでは、40 名あまりの聴講者があり、受賞者と入選者に作品説明をしてもらい、中西・岡がそれぞれの作品について解説した。

審査員（中西芳雄・日浦猛史・坂容子）



放美展 ギャラリートーク

◎第 59 回新作日本画展（6月20日～23日 阿波銀プラザ臨時ギャラリー）

今回展も意欲あふれる魅力的な作品が 50 点出品され、4 日間で 325 名の来場者があり、展覧会期間中に懇親会も開催された。

新作大賞 「野辺」	植田 忠生	優 秀 賞 「半夏生の頃」	大栗美和子
新 作 賞 「風舞」	岡 清海	「車道側は僕」	加藤 敦美
「幸せな時間」	澤 真弓	「春陽」	安 渕 弘佑
「流れ」	久保 守近	「霧雨の白川郷」	加統 勢一
「春光」	木原 典子	「紫陽花」	森崎 雅子



新作日本画展受賞者

◎第 74 回徳島県美術展（10 月 5 日～ 13 日 あわぎんホール）

今回の審査は、日本美術院同人の宮北千織先生にお願いした。応募点数は 38 点で、その中から特別賞（徳島市長賞）1、特選 1、準特選 3、奨励賞 3 を含む入選 23 点を選んだ。宮北先生には厳正に審査していただいた後、講評では特に題材や取材、岩絵具の表現法などのお話があった。

また、特選、準特選などの作品に関する審査評は次のようなものであった。

徳島市長賞の大塚さや香「憩」は、動物の表情がよくできている。粗い絵の具もうまく生かしてマチエールも美しい。力のある人だと感じた。特選の富永博子の「遠雷」は色彩の美しさに強く引かれた。描きたい世界がはっきりしており、作品に対する集中力が感じられた。出品作品はどれも特徴や面白みがあり、しっかりと描かれた絵が多く、入選を決めるのに苦心した。訴え掛けてくる強さを重視して選んだ。



県美術展 審査風景

◎岡英彦氏が第11回とくしま芸術文化賞を受賞

日本画部会長の岡英彦氏が第11回とくしま芸術文化賞（県文化振興財団主催）を受賞し、平成31年3月28日にあわぎんホールで表彰式が行われた。

会員消息（県展・放美展を除く。月別）

2月	山川公民館サロン展（山川水墨画教室） 第47回徳島市芸術祭美術展	山川地域総合センター シビックセンターギャラリー 土方喜美子（特別出品）・鈴木恵子（招待）・久保守近	藤井吉信
3月	第2回佐古絆文化協会作品展	佐古コミュニティホール	久保守近
4月	日本画たゆたゆ花々展 第23回日本の美しい自然 第3回新日春展 第59回日本南画院展	喫茶花杏豆 東京芸術劇場ギャラリー 東京都美術館 大阪市立美術館	川真田哲雄 久保守近 土方るみ子 長谷壽・藤井瑞雲
5月	第58回阿南市春季美術展 第55回溪生社水墨画展 第3回新日春展 第10回徳島女流美術展	阿南市文化会館 あわぎんホール 堺市立文化館ギャラリー あわぎんホール	長谷壽・植田忠生 久保守近 土方るみ子 石原千鶴・斎藤久代・ 土井洋子・土方喜美子・ 土方るみ子・柳田一子
6月	土方るみ子日本画展「時を奏でる」	そごう徳島店5階美術画廊	土方るみ子
7月	山川公民館サロン展	山川地域総合センター	藤井吉信
8月	第3回日美展	東京国立新美術館	久保守近
9月	日本画移ろう刻展 第51回石井美術の会作品展 第3回久保守近個展	四国オイル商事ギャラリー あわぎんホール 鳴門キョーエイ駅前店	川真田哲雄 植田忠生 久保守近
10月	第77回有秋会日本画展	大阪市立美術館	藤井瑞雲（三野昭和賞受賞）
11月	第15回吉野川市文化祭 第48回阿南市文化祭美術展 第22回溪生社小品展 馬驍展 令和元年阿南市福井町文化祭作品展	吉野川市立川島町体育館 阿南市文化会館 阿波銀プラザ臨時ギャラリー 東京国立新美術館 阿南市福井町総合センター	藤井吉信 長谷壽・植田忠生 久保守近 久保守近 長谷壽
12月	第28回田野全国水墨画展 山川町公民館祭 第48回歳末チャリティー作品・色紙即売展	高知県田野町公民館 山川地域総合センター そごう徳島店6階	久保守近 藤井吉信 岡英彦・土方るみ子・ 久保守近

洋 画 部

部 会 長 平 木 美 鶴

年間展望

◎第 27 回放美展 会期：5 月 2 日～5 月 6 日 場所：あわぎんホール

出品者数 144 人で出品数 161 点中 91 点の入選（入賞を含む）で、入選率は 56.5%、審査員は昨年に引き続き露口敏幸、西川周三、鈴木敬子でした。放美賞の高校生、戸根由祐子さんの作品「いない人」は、緊張感のある作品で明暗の調子が美しい佳作でした。優秀賞は 6 名でした。宮内一子さんは、農作業後のひと時を描いた優しい作品、川中比沙子さんは奥の深い空間を感じる抽象作品、重田悠人さんは、重い感じの筆使いや構図が良い作品、遠藤公美子さんは、しっかりと描きこんだ纏まりのある作品、西村茉莉杏さんは、高校生らしい明るさの中に怖さもある作品、竹田彩夏さんは、シュールな作品でした。四国大学賞は、牛骨を真面目に描き込んだ一森星南さんの作品でした。以下に僅差で賞とはならなかった 7 名の賞候補者の氏名（受賞者は除く）を記します。横畠寛、長尾賀代子、黒島貞子、押栗洋子、薛源、枋谷日菜子、富本ひよりの各氏です、次回の励みとしていただければ幸いです。

今回も 5 月 4 日に榎田務先生と平木で展示会場においてギャラリートークを開催しました。受賞者と入選者に作品説明をしてもらい、それに対して 2 人がコメントする形で進めました。80 名程度の参加者があり、みなさんの関心の高さを感じました。



放美展の審査風景

◎第 33 回洋画部会員展 会期：7 月 25 日～7 月 28 日 場所：あわぎんホール大展示室

今回の会員の出品者数は 93 名でした。会期中の 7 月 28 日に放美展審査員である露口敏幸、西川周三、鈴木敬子の 3 名が会場にてギャラリートークを開催しました。52 名程度の参加があり活発な意見交換となり盛況で会員同士の交流と会員展の充実を計れたと思います。今後とも継続していければと思います。入場者数は 499 名でした。

洋画部会員展事務局は以下です。

中 央：伊勢浩章、遠藤誠一、嵯峨潤三、玉田秀子、長尾弘久、手塚てる子、西川周三、
榎田 務、平木美鶴、大西文代

北 部：越久高照、二條 均、田中シゲミ、島上二郎
南 部：佐藤敬子、中辻奈美枝、福良哲子
西 部：鈴木敬子、松川 寛、前川富子
事務局：清水 博 会計：杉本祥子 監事：佐藤敬子

◎第74回県美術展 会期：10月5日～10月13日 場所：あわぎんホール

出品者数は209人、出品数259点中、133点の入選（入賞も含む）で出品数からの入選率は51.4%、出品者数からの入選率は63.6%でした。審査員は日展理事の湯山俊久先生をお迎えしました。作品のレベルは高く、種類も幅広かった。制作しているとブレや迷いが出てくるがそれに引っ張られると絵が鈍くなるので自分の気持ちを盛り上げて制作して欲しいと評されていました。

今回の審査では入選作から31点の賞候補を選び、そこから14点の受賞作が選ばれました。賞と候補の質の差はなく、どの作品が受賞してもおかしくないと思います。今回も受賞作品と賞候補を中心とした展示にも工夫をしました。以下に賞候補者の氏名（受賞者は除く）を記します。

七田理彩、水田和希子、新藤佐代子、高木宏、菊本静子、永野耕一、志摩政照、笹田義宏、榊和也、日野邦恵、二條均、川人健司、田浦佳江、宮本典子、岩井千晴、前野亮治、小倉満智子



審査員の湯山俊久先生と洋画部委員

会員の訃報

長年、洋画部委員や理事として徳島県美術家協会にご貢献いただきました、黒崎志郎氏および会員の南城ミツ子氏、田中康子氏が逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

会員消息（県展・放美展を除く）

- 東 紀美子 徳島アート21第17回展（シビックセンター）、第58回阿南市美術展・第48回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）、第33回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 阿部 昌子 第50回土曜展（シビックセンター）、第75回青美展（あわぎんホール）
- 天田 弘行 第51回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、第51回石井美術の会（あわぎんホール）

- 伊勢 浩章 徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 33 回洋画部会員展・第 37 回平和美術展・第 75 回青美展（あわぎんホール）
- 乾 繁春 第 79 回美術文化展（都美術館）、同巡回展（愛知美術館・大阪市立美術館）、第 78 回世代美術展・第 12 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、高松絵画美学展（高松市美術館）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 伊良原貞子 第 73 回女流画家協会展（都美術館）、第 29 回美術文化徳島支部展・第 78 回世代美術展・第 12 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）
- 岩井 千晴 徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 宇高 桂子 第 73 回女流画家協会展（都美術館）、第 10 回徳島女流美術展・第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、AWA 現代アート展 2019（御所山王子現代アートスペース）
- 梅津美砂代 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 遠藤 誠一 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 17 回徳島版画展（阿波銀プラザ）
- 大津 憲文 第 58 回阿南市春季美術展・令和元年度第 48 回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）、第 38 回新野文化祭（新野公民館）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 大坪潤一郎 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 44 回土日会展（国立新美術館）、徳島大学総合美術展（徳島大学ギャラリー新蔵）、第 7 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 大西 文代 第 36 回青彩美術・第 44 回あわ洋画ぐるうぷ合同展（シビックセンター）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 大西利津子 春季徳島二紀展（あわぎんホール）、第 34 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 大南 芳子 第 7 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 岡田 君代 第 50 回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第 37 回平和美術展・第 72 回示現会展巡回徳島展・第 33 回洋画部会員展・第 75 回青美展（あわぎんホール）
- 越久 高照 第 47 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 30 回板野美術クラブ展（板野町文化の館）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 小倉満智子 第 1 回小倉万智子個展（花杏豆）、勝浦勝美会展（勝浦町役場）、AWA 現代アート展 2019（御所山王子現代アートスペース）
- 折目 早苗 勝浦勝美会展（勝浦町役場）、八万文化祭（八万コミセン）
- 加川由紀子 徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 7 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 河田 安市 第 95 回白日会展八咫鳥賞・第 6 回日展（国立新美術館）
- 川中比沙子 AWA 現代アート展 2019（御所山王子現代アートスペース）、勝浦勝美会展（勝浦町役場）
- 河野 公子 第 33 回洋画部会員展・第 37 回平和美術展・第 75 回青美展（あわぎんホール）、河野公子小品展（田岡病院ギャラリー）、河野公子絵画展（キョーエイ鳴門 4 階ギャラリー）

- 河本多恵子 徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 7 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、国府文化祭（国府コミュニティセンター）
- 岸本 花子 第 47 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 42 回八紅展（阿波銀プラザ）、全展（都美術館）
- 木谷 弘 第 7 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 北村 照子 第 47 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 42 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 35 回八万文化祭美術展（八万コミュニティセンター）
- 久保 和子 第 28 回美術文化徳島支部展・第 12 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、第 33 回洋画部会員展・第 75 回青美展（あわぎんホール）
- 後藤ユリ子 第 33 回洋画部会員展・第 75 回青美展にて青美賞（あわぎんホール）、短歌と絵画の彩り展（シビックセンター）、第 83 回自由美術展（国立新美術館）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 近藤 克子 改組第 6 回日展（国立新美術館）、第 85 回東光展（都美術館）、第 76 回東光会徳島支部展・第 33 回洋画部会員展・第 10 回徳島女流美術展（あわぎんホール）、第 12 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、第 41 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 西條 敏夫 オイルパステル画展（ギャラリー喫茶グレイス・櫻ギャラリー）、スレートプレートアート展（ギャラリーカフェブリッサ）、第 31 回現代パステル協会展（都美術館・大阪市立美術館）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 41 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 嵯峨 潤三 徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 17 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、TOKUSHIMA ART21 5 人展（ギャラリー M&M）
- 佐々木公子 徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、羽ノ浦町公民館フェスタ（羽ノ浦町公民館）、第 5 回つくしの会展（阿南市文化会館）、小松島市新開地区文化祭（新開会館）
- 佐藤 敬子 第 33 回洋画部会員展・第 75 回青美展（あわぎんホール）、第 12 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、八万町文化祭（八万町公民館）
- 篠原佳代子 第 44 回昭和美術会展京都知事賞（京都市美術館別館）、同山口巡回展（クリエイティブスペース赤レンガ）、第 33 回洋画部会員展・第 10 回徳島女流美術展（あわぎんホール）、第 52 回京洛美術院作品展（ギャラリーきむら京都）、第 27 回水彩、油画、スケッチ展（カフェ・カシュ・カシュギャラリー）、第 12 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）
- 四宮 久子 第 73 回二紀展（国立新美術館）、第 34 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（臨時阿波銀プラザ）
- 志摩 正照 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 41 回鴨島美術グループ展・第 15 回総合美術展（吉野川市文化研修センター）
- 島上 二郎 改組新第 6 回日展（国立新美術館）、第 85 回東光展（都美術館）、第 76 回東

光会徳島支部展（あわぎんホール）

- 島津 千尋 第 83 回自由美術展（国立新美術館）
- 島田 純江 第 48 回絵で見る徳島展・第 51 回画展ふるさと（あわぎんホール）
- 下時治郎秀臣 第 95 回白日会展（国立新美術館）、第 95 回白日会名古屋巡回展（愛知県立美術館）、第 95 回白日会関西巡回展（近鉄アート館）、第 6 回日展（国立新美術館）、第 33 回洋画部会員展・現代洋画秀作展（あわぎんホール）、鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 杉本 祥子 第 73 回女流画家協会展（都美術館）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 7 回 KENDO 洋画グループ作品展（シビックセンター）、第 6 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、徳島アート 21 5 人展（ギャラリー M&M）、AWA 現代アート展 2019（御所山王子現代アートスペース）
- 鈴木 敬子 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 41 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 武田 洋子 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、三好郡・三好市教職員春風展（たばこ資料館）、阿波絵画クラブ展（阿波図書館）
- 竹原 良亮 第 47 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 田中シゲミ 第 47 回徳島市芸術祭美術展招待出品（シビックセンター）
- 田中 敏雄 第 47 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 81 回一水会展（都美術館）、田中敏雄個展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 谷 慎也 第 50 回土曜展（シビックセンター）、第 31 回現代パステル協会展（都美術館）、第 75 回青美展（あわぎんホール）
- 谷口 克子 第 30 回板野美術クラブ展（板野町文化の館）、第 50 回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第 72 回示現会展（国立新美術館）、第 72 回示現会巡回徳島展（あわぎんホール）
- 為実美恵子 第 13 回三好市文化まつり（三好市総合体育館）
- 手塚てる子 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、手塚てる子版画展（ギャラリーカフェブリッサ）、第 17 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、AWA アート展（御所山王子現代アートスペース）
- 長尾 弘久 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、長尾弘久展（ギャラリー喫茶 GRACE）、第 17 回徳島版画展（阿波銀プラザ）
- 長坂 芳子 第 85 回東光展（都美術館）、第 76 回東光会徳島支部展・第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 中辻奈美枝 徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 58 回阿南市美術展・第 48 回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）、ともだち展（大阪マサゴ画廊）
- 中村 俊夫 第 7 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 西 富美 第 87 回独立展（国立新美術館）、第 87 回独立大阪展（大阪市立美術館）、第 18 回埼玉独立展（埼玉県立近代美術館）、第 3 回独立四国会展（高松市立美術館）、

仮面展（銀座ギャラリー GK・東京ギャラリー GK）、SCENE2019 表現する私たちの軌跡展（東京銀座アートホール）、独立春季新人選拔展 2019（都美術館）、2019 武蔵野美術大学校友会関西支部展（奈良県立文化会館）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）

- 西川 敬子 第 75 回関西水彩画展（大阪市立美術館）、徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 33 回洋画部会員展・第 10 回徳島女流美術展（あわぎんホール）、西川夫婦展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 西川 周三 徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、西川夫婦展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 西崎 志帆 第 24 回アートムーブコンクール展（大阪府立江之子島芸術文化創造センター）、個展「青と知覚」展（ギャラリー M&M）
- 二條 均 第 37 回平和美術展・第 33 回洋画部会員展・第 75 回青美展（あわぎんホール）、第 30 回板野美術クラブ展（板野町文化の館）、徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）
- 野上 恵子 第 42 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 47 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、佐那河内文化祭（佐那河内小中学校体育館）
- 野口 暁子 第 42 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 林 静代 第 63 回兵庫二紀展（原田の森美術館）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、アトリエバクグループ展（桜茶屋ギャラリー）
- 林 信夫 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 林 敏雄 第 50 回土曜展（シビックセンター）
- 坂東 悦子 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、吉野川阿波美術交流展・阿波美術の森作品展（アエルワホール）
- 坂東 弘子 第 7 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 日野 邦恵 改組第 6 回日展（国立新美術館）、第 85 回東光展（都美術館）、第 76 回東光会徳島支部展・第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 17 回展（シビックセンター）、第 12 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、日野邦恵絵画展（鴨島花杏豆）、鳴門支部白鳳グループ展（鳴門キョーエイ）、奥入瀬二人旅展（ギャラリーカフェブリッサ）
- 平木 美鶴 個展（ギャラリー M&M）、個展（ガレリア新蔵）、個展（横浜高島屋美術画廊）、第 73 回二紀展委員推挙（国立新美術館）、第 87 回日本版画協会展（都美術館）、京都版画国際版画展日本とオーストラリア 2019（Caloundra Regional Gallery オーストラリア）、第 17 回徳島版画展・春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、ギャラリーあじさい新春展（ギャラリーあじさい、神戸）、第 34 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 平田スミコ 第 73 回女流画家協会展（都美術館）
- 平野 幸子 第 7 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第 37 回平和美術展・第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 福良 哲子 第 33 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 42 回八紅展（阿波銀プラザ）

- 藤井 香世 第33回洋画部会員展（あわぎんホール）、第7回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 藤丸 家栄 徳島アート21第17回展（シビックセンター）
- 藤本 誠子 第21回アトリエバクグループ展（桜茶屋ギャラリー）
- 前川フキ子 第33回洋画部会員展（あわぎんホール）、第5回つくしの会展（阿南市文化会館）、羽ノ浦公民館フェスタ（羽ノ浦町公民館）、徳島アート21第17回展（シビックセンター）
- 前川 富子 第78回水彩連盟展（国立新美術館）、美術文化徳島支部展（阿波銀プラザ）、第33回洋画部会員展・石井美術展（あわぎんホール）
- 榊田 務 第33回洋画部会員展・退職校長会生きがい展・第76回東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第47回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）
- 眞鍋たえ子 第33回洋画部会員展（あわぎんホール）、第47回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）
- 眞野 尚枝 第81回一水会展（都美術館）、第33回洋画部会員展（あわぎんホール）、楽創会展（みやこメッセ）
- 馬淵 博子 第33回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 馬淵 尚子 第33回洋画部会員展（あわぎんホール）、吉野川総合美術展・第41回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）、二市交流展（アエルワ）
- 三沢 尚子 第6回尚アート水彩画展（阿波銀プラザ）、第2回オペラ色の会水彩画展（桜茶屋ギャラリー）、第10回徳島女流美術展（あわぎんホール）
- 三谷ミヤ子 徳島アート21第17回展（シビックセンター）、第33回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 峯 幸子 第10回徳島女流美術協会展・第33回洋画部会員展（あわぎんホール）、む・アート展（阿波銀プラザ）、峯幸子絵画作品展（画廊喫茶グレース）
- 蓑手日登美 第69回モダンアート展（都美術館）、第51回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、第10回徳島女流美術協会展・第33回洋画部会員展（あわぎんホール）、第8回あとりえみのん絵画講座作品展（福田珈琲）
- 山口美千代 第33回洋画部会員展（あわぎんホール）、池田文化まつり
- 山口 明美 第33回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 結城 栄子 第47回むアート展（阿波銀プラザ）
- 横井嘉世恵 第47回徳島市芸術祭美術展招待出品（シビックセンター）、第33回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 米沢 博 第25回徳島県健康福祉大会美術展（あわぎんホール）
- 和田 寿子 第47回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第33回洋画部会員展・第48回絵で見る徳島展・第50回画展ふるさと（あわぎんホール）

写真部

部会長 上野 照文

年間展望

○第27回放美展

(5月2日(木)～6日(月)あわぎんホール)

第27回展は102名255点の作品が出品され、放美賞1点、優秀賞10点、四国大学賞1点、入選122点、審査員3点、無鑑査5点計142点が展示された。審査は上野照文、橋本圭祐、井藤光章が担当した。



放美展審査風景

○第74回県美術展

(10月9日(水)～16日(水)あわぎんホール)

27年ぶりに審査員には立木義浩先生を迎えて9月29日(日)に行なった。出品人数168名で応募点数は621点。この中から特選4点。準特選9点。奨励賞8点。入選112点が選出された。



県展審査風景

○写真部撮影会

(6月30日(日)倉敷市美観地区)



倉敷撮影会

毎年写真部恒例の撮影会を岡山県倉敷美観地区へ参加 28 名で開催した。変わりやすい天候の中、参加者は精力的に撮影し無事に終了した。下記の各委員にお世話願った。

井上 憲治・林 敏彦・阿部啓三・三木理司

会員消息

◎第 53 回日本光画会写真展（1 月 5 日（土）～8 日（火）徳島市シビックセンターギャラリー）

出品者：佐藤美智子・林 好一

◎第 34 回全日本写真連盟県本部写真展（1 月 25 日（金）～27 日（日）徳島市シビックセンターギャラリー）

出品者：秋田召旨・秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大島茂信・大津勝治
岡本早苗・岸田義市・佐治 孝・高島武夫・田村泰弘・二階博司・野藤敏美
野藤みきよ・橋本圭祐・橋本 勝・林 敏彦・林 好一・板東泰雄・姫野博司
福井邦博・福井純子・福田 勉・増田 寿・水口義行・宮本幸治・森 賢一
森内昭男・山下助信・山田 卓 吉村敏嗣

◎三好 和義写真展「写真生活 45 周年徳島から世界の楽園へ」

（2 月 23 日（金）～28 日（水）徳島そごう 6 階）

◎日本風景写真協会 第 13 回徳島支部展（3 月 8 日（金）～10 日（日）徳島市シビックセンターギャラリー）

出品者：岩崎英昭・板東よしお・吉田隆之

◎第 50 回ナルトピンぼけクラブ写真展（3 月 15 日（金）～17 日（日）キョーエイ鳴門駅前店）

出品者：賀川泰弘・木田英之・武知 雅・増田 実

◎三人展（4 月 1 日（月）～27 日（土）徳島市立図書館前ギャラリー）

出品者：山上 堯

◎徳島大学開放実践センター講座修了生 & friend's 写真展（4 月 5 日（金）～8 日（月）徳島市阿波銀プラザ）

出品者：上野昭文・大津勝治・大塚 尚・岸田義市・熊谷美智子・斉藤幹夫・谷ひづる
西岡まゆみ・廣野美知子・三谷美津子・山上 堯・山田 卓・吉田隆之

◎第 5 回徳島新光会写真展（4 月 12 日（金）～14 日（日）徳島市シビックセンターギャラリー）

出品者：三木理司・三谷美津子・光井雅巳

◎第 13 回写好館クラブ写真展（4 月 19 日（金）～21 日（日）徳島市ヨンデンプラザギャラリー）

出品者：岸田義市・木田英之・山田 卓

◎第 20 回ニッコールクラブ徳島支部写真展（4 月 19 日（金）～21 日（日）徳島市シビックセンターギャラリー）

出品者：秋田召旨・井藤光章・川真田慶治・櫛渕 魏・藤川光昭・堀口幸男・増田 寿
森 光・森 賢一

◎第 36 回サンカ会写真作品展（4 月 20 日（土）～22 日（月）徳島市シビックセンターギャラリー）

出品者：田中伸廣・森内昭男

◎岸田 義市写真展「善入島の風景」（5 月 1 日（水）～6 日（月）吉野川市文化研修センター）

◎吉村 敏嗣 第 5 回展「星降る風景写真展」（5 月 17 日（金）～6 月 10 日（月）神山町ギャラリー仙人）

◎第 19 回「UNIT-D」写真展（5 月 18 日（金）～21 日（日）徳島市阿波銀プラザ）

出品者：井上憲治・上野昭文・熊谷美智子・高橋一恵・多川静守・滝畠豊美・野口佳一
橋本圭祐・林 敏彦・堀口幸男・増田 寿

- ◎第42回写真同人「炎」作品展（5月31日（金）～6月2日（日）徳島市シビックセンターギャラリー）
出品者：秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大津勝治・佐治 孝・佐藤美智子
田村泰弘・土橋成行・野口佳一・林 敏彦・板東武志・廣野美智子・堀口幸男
森 賢一
- ◎「写真二人展 拝宮の聲」（6月2日（日）～30日（日）徳島市立図書館前ギャラリー）
出品者：岸田義市・西岡まゆみ
- ◎第25回ライカクラブ写真展（6月21日（金）～23日（日）徳島市シビックセンターギャラリー）
出品者：井上秀人・山田勝二
- ◎第10回二科会徳島支部展（7月12日（金）～16日（火）徳島市シビックセンターギャラリー）
出品者：秋山修一・幾田茂仁・石川徹雄・梅本貞範・佐野和史・谷 嘉明・土橋成行
富岡佳代子・鳥居敬一・姫野博司・平澤澄子・平野史子・増田 寿・南 敦子
宮前 稔・森内昭男・森住 博・山口正明・山下助信・大和章人・大和健司
- ◎第14回写真同人「光」写真展（8月30日（金）～9月1日（日）徳島市シビックセンターギャラリー）
出品者：遠藤博敏・小原英児・田村泰弘・二階博司・林 和彦・林 敏彦・林 好一
姫野博司・福井邦博・福井純子・福田 勉・松浦 孝・水口義行・山下助信
- ◎第10回 Gruppo Foto23 写真展（9月6日（金）～9日（月）徳島市阿波銀プラザ）
出品者：上野照文・大塚 尚・大西啓子・岸田義市・熊谷美智子・斉藤幹夫・高橋一恵
田中伸廣・谷ひづる・西岡まゆみ・吉田隆之
- ◎第9回木田英之&写真クラブ合同展（9月13日（金）～15日（日）県立近代美術館ギャラリー）
出品者：賀川泰廣・岸田義市・木田英之・木内正大・高島武夫・武知 雅・林 好一
古岡友子・山田 卓
- ◎第59回写真会写真展（9月22日（土）～24日（月）徳島市シビックセンターギャラリー）
出品者：上野照文・川真田慶治・岸田義市・櫛渕紳哉・櫛渕 魏・西岡まゆみ・堀口幸男
板東泰雄・古井謙吉・森 光・山田 卓
- ◎第66回阿波踊り写真コンクール（10月19日（土）～11月1日（金）徳島市阿波踊り会館）
入賞者：増田 実・阿部啓三・岩崎英昭・喜多昌弘・野藤敏美・野藤みきよ・福井純子
山上 堯・柳本 正
- ◎第6回写真倶楽部八丁目写真展（10月5日（土）～10月7日（月）徳島市シビックセンターギャラリー）
出品者：富岡佳代子・新居 奏・板東律雄・南 敦子・森内昭男・山下修司
- ◎第10回木田写真クラブ「折々の…」写真展（10月25日（金）～27日（日）県立美術館ギャラリー）
出品者：木田英之・林 好一
- ◎第18回キャノンフォトクラブ写真展（10月31日（木）～11月5日（火）徳島市阿波銀プラザ）
出品者：稲井健司・野口道子・橋本 勝・板東泰雄
- ◎第26回朝日四国写真展（11月3日（日）高松市社会福祉総合センターにて審査）
入賞者：阿部啓三・井上憲治・大島茂信・大津勝治・岡本早苗・佐治 孝・野藤敏美
野藤みきよ・林 敏彦・姫野博司・福井邦博・福井純子・三谷美津子・森 賢一
- ◎日本リアリズム写真集団徳島支部「おのころ島点描」（11月22日（金）～24日（日）ヨンデンプラザ徳島）
出品者：木田英之

彫 刻 部

部 会 長 井 下 俊 作

年間展望

◎第 27 回放美展（令和元年 5 月 2 日（木）～ 6 日（月）あわぎんホール）

今回の応募者数は 19 人で出品点数は 20 点であった。点数では前回より 9 点少ない。出品者 19 人のうち 10 名が学生であった。昨年より出品数は少ないが、作品の内容は力作ぞろいであった。

放美賞を受賞した鈴江空里子さんの「渦の音」は具象の女性像。難しい女性のポーズを真剣に挑み、女性のしなやかな姿を上手に表現している点が評価された。

優秀賞の猪井賢二さんの「樹夢」は素材の木の魅力を十分に発揮している点が評価された。

四国大学賞の黒田あすかさんの「unicorn」は、牛骨から発想を得たもので、量感のある力作であった。

（審査員として、鎌田邦宏、武田亜希子、居上真人が務めた）

放美展彫刻部のギャラリートークは 5 月 6 日（月）14 時から開催された。上月佳代さん、武田亜希子さんが作品を解説し、多くの参加者からの質問に答えた。



放美展 展示風景



放美展 ギャラリートーク

◎第 74 回県美術展（第 1 期 令和元年 10 月 5 日（土）～ 10 月 13 日（日）あわぎんホール）

今回の審査員は、武蔵野美術大学教授で彫刻家の黒川弘毅先生であった。出品総数は 23 点で、前回より 5 点少ない。そのうち 14 点が入賞・入選作品に選ばれた。展示総数は無審査出品を含めて 23 点であった。特に今回は特選特別賞の県美術家協会会長賞に大貝寿子さんの「ずっとずっと」が選ばれた。セラミックの大型作品であり、迫力のある見事な造形力を見せた。

審査総評として、「あまり考えず好きなものを楽しみながら表現してほしい。材料としてこだわらず身の回りにあるものを利用してはどうか」と述べられた。



県美術展 展示風景



県美術展 特別展示室 展示風景

会員消息 (県展・放美展関係は除く。順不同)

居上 真人	2月	第47回徳島市芸術祭美術展 特別出品	シビックセンター
	4月～5月	善通寺フラワー＆ガーデンフェスタ 2019	
		「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園	
	5月	あさご芸術の森美術館開館 20周年企画展	兵庫県朝来市
	6月	2019 宮崎国際現代彫刻・空港展	宮崎市
	9月	第104回二科展	国立新美術館
井下 俊作	10月～11月	第57回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	11月	第8回あさごアートコンペティション<入選>	兵庫県朝来市
	11月	2019 石見銀山現代彫刻小品展	島根県
河崎 良行	8月	お雛山モニュメント設置	勝浦町坂本
	10月～11月	第57回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
鎌田 邦宏	3月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ臨時ギャラリー
	5月	第3回現代造形表現作家フォーラム展	東京都美術館
	8月	第34回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10月	第73回二紀展	国立新美術館
	11月	花とみどり・いのちと心展	国営昭和記念公園 立川市
鎌田 邦宏	2月	第47回徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	3月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ臨時ギャラリー
	3月	第9回二紀会選抜展	東京都美術館
	8月	第34回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10月	第73回二紀展	国立新美術館

木村 大志	3 月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ臨時ギャラリー
	5 月	徳島大学創立 70 周年記念美術展 木村大志展	ガレリア新蔵
	8 月	第 34 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10 月	第 73 回二紀展	国立新美術館
上月 佳代	2 月	第 47 回徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	3 月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ臨時ギャラリー
	3 月	第 14 回春季二紀展	東京都美術館
	8 月	第 34 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10 月	第 73 回二紀展	国立新美術館
	10 月	シエナ日本友好美術展覧会	シエナ美術館 プブリコ宮殿 イタリア
	11 月～ 12 月	9 人展	moi moi gallery
近藤 美暁	3 月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ臨時ギャラリー
	3 月	第 14 回春季二紀展	東京都美術館
	8 月	第 34 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10 月	第 73 回二紀展	国立新美術館
佐藤 隆	10 月～ 11 月	第 57 回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
武田亜希子	2 月	第 47 回徳島市芸術祭美術展 特別出品	シビックセンター
	3 月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ臨時ギャラリー
	3 月	第 14 回春季二紀展	東京都美術館
	8 月	第 34 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10 月	武田亜希子展 一空間と旋律一	うしお画廊 東京
	10 月	第 73 回二紀展 会員推挙	国立新美術館
	11 月～ 12 月	武田亜希子鉄の彫刻展・2019 石見銀山彫刻小品展同時開催	島根県
	12 月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	ギャラリーせいほう
	*第 72 回二紀巡回展（神戸、広島、長崎、佐賀、金沢） 第 73 回二紀巡回展（名古屋、神戸、広島、福岡）		
林 一美	2 月	シルバー人材センター美術展	
	3 月	阿南市橘町光明地寺不動明展示	
	10 月	昭和町文化祭 仏像展示	
東 光司	1 月	第 51 回モダンアート徳島支部展	阿波銀プラザ臨時ギャラリー
	3 月	東光司野外石彫展 30 年の歩み	てくてく栗生野
	10 月	関西モダンアート作家展	ホルベインギャラリー 大阪

松永 勉	2 月	第 47 回徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	3 月	Sculpture by the Sea , Cottesloe 2019	オーストラリア パース
	4 月～ 5 月	善通寺フラワー&ガーデンフェスタ 2019「a→g アート to ガーデン」	
		善通寺五岳の里	市民集いの丘公園
	7 月	マンションブランド川口本町アート計画作品設置	埼玉県川口市
	9 月	第 74 回行動展 会員出品	国立新美術館
	10 月	第 74 回行動展大阪巡回展	大阪市立美術館
	10 月～ 11 月	第 57 回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	12 月	石見銀山彫刻小品展	島根県大田市大森町
	12 月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	銀座ギャラリーせいほう
	12 月	マンションルフォンリブレ大島作品設置	東京都江東区

美術工芸部

部会長 松下 慶一

年間展望

◎第 27 回放美展 5 月 2 日（木）～ 6 日（月） あわぎんホール



第 27 回放美展の審査風景

4 月 29 日（月）搬入審査が行われた。出品数は前回より 12 点少ない 98 点であった。ジャンル別では陶磁作品の 42 点、押し花 18 点、木竹 13 点、パッチワーク 6 点、ガラス 5 点の順に多かった。その中から 69 点を入選とし、放美賞 1 点、優秀賞 4 点、四国大学賞 1 点が選出された。審査員出品 3 点、無鑑査出品 2 点も展示された。出品数の減少が気になるが、皆様のますますの奮起を期待しています。作品は意欲作が多かった。

美術工芸部ギャラリートークが 5 月 6 日（月）午後 3 時より開催され、多くの聴講者があり、受賞作品を中心に審査員 3 名が解説し質問を受けた。

審査員は橘恵（染）、森明治（陶磁）、斎藤和彦（金工）がつとめた。

◎第 74 回県美術展 第 1 期 10 月 5 日（土）～ 13 日（日）あわぎんホール

第 74 回県美術展の美術工芸部門の応募作品点数は 133 点（前回 144 点）と前回より 11 点減少した。

ジャンル別では陶磁 59 点、パッチワーク 18 点、押し花 13 点、ガラス 13 点、木竹 10 点、染織 8 点の順に多かった。

作品は力作が多く内容があり、次回が楽しみな作品が多かった。

今回の審査員は日展特別会員、東京芸術大学非常勤講師大樋年雄先生（十一代大樋長左衛門）（陶磁）にお願いした。



第 74 回県展の平面作品審査風景

総評では「形の良さはもちろんだがメッセージ性にも重きを置くこと。自分はこんなものを作りたいとのイメージが湧かなければならない。つまり作り始める前にタイトルを決めることが大事。徳島ならではの工芸が生まれることも期待」ということであった。



第74回県展の立体作品審査風景

審査後、出品者の方々に参加を募り場所を変えて「審査員の先生を囲む会」をひらき大樋年雄先生からこれからの徳島の美術工芸についても貴重な示唆をいただいた。

最後に大樋先生と参加者全員で阿波おどりで盛り上がりました。



審査・講評の後、大樋先生を囲んで記念撮影

◎第2期 10月9日（水）～16日（水）

（特別・招待・賛助）出品の方の作品が特別展示室で展示されました。

◎第74回県美術展選抜展が10月26日（土）～11月4日（月・祝）吉野川市文化研修センターで開かれました。

美術工芸部門の作品解説を10月26日（土）に森賢一氏がされました。

◎最後になりましたが徳島県美術家協会・前副会長の松下雄介氏が10月に亡くられました。永年の功績に感謝しご冥福を祈ります。

会員消息 (県展・放美展は除く)

阿部 能則	・第 34 回藍美展	11 月	藍住町総合文化ホール
天野 和子	・第 58 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 58 回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7 月	あわぎんホール
石井 春夫	・第 25 回徳島県健康福祉祭美術展 (金賞)	12 月	あわぎんホール
上田 優	・うえたまさる きりえ展	3 月	大鳴門橋架橋記念館エディ
	・上田優と仲間たち きりえ展	3 月	キューエイ鳴門駅前店
	・日本きりえ美術展	11 月	東京都美術館
	・第 47 回全国公募県手工芸展 (招待)	11 月	あわぎんホール
遠藤 勇	・だいやま陶芸村展	4 月	技の館
	・第 34 回藍美展	11 月	藍住町総合文化ホール
遠藤 好子	・だいやま陶芸村展	4 月	技の館
	・第 34 回藍美展	11 月	藍住町総合文化ホール
大貝 貞雄	・第 47 回徳島市芸術祭美術展 (招待)	2 月	シビックセンター
	・陶と造形による大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	6 月	徳島県近代美術館ギャラリー
	・第 47 回全国公募県手工芸展 (招待)	11 月	あわぎんホール
大貝 寿子	・第 47 回徳島市芸術祭美術展 (招待)	2 月	シビックセンター
	・陶と造形による大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	6 月	徳島県近代美術館ギャラリー
	・第 47 回全国公募県手工芸展 (賛助出品)	11 月	あわぎんホール
越 由子	・第 58 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 58 回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7 月	あわぎんホール
	・改組新第 6 回日展	11 月	国立新美術館
近藤佐起江	・近藤佐起江押し花小品展	1 月	花杏豆 (鴨島町)
	・第 47 回徳島市芸術祭美術展 (無鑑査)	2 月	シビックセンター
	・第 58 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 58 回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7 月	あわぎんホール
	・第 47 回全国公募県手工芸展	11 月	あわぎんホール
近藤美佐子	・第 58 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 58 回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7 月	あわぎんホール
	・特別展「現代工芸・阿波藍作品展」	7 月	あわぎんホール
斎藤 和彦	・日本七宝作家協会展	10 月	東京都美術館
四宮 千代	・鳴門市展	10 月	キューエイ鳴門駅前店
高瀬 裕司	・第 47 回徳島市芸術祭美術展 (奨励賞)	2 月	シビックセンター
	・第 47 回全国公募県手工芸展 (奨励賞)	11 月	あわぎんホール
多智花佐代子	・第 58 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 58 回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7 月	あわぎんホール
	・特別展「現代工芸・阿波藍作品展」	7 月	あわぎんホール

田村栄一郎	・ テーブルウェアフェスティバル (入賞)	12 月	東京ドーム
手塚 健一	・ 第 47 回全国公募県手工芸展 (徳島市教育長賞)	11 月	あわぎんホール
鳥井 明子	・ 第 58 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・ 第 58 回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7 月	あわぎんホール
内藤 久子	・ 第 58 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・ 第 58 回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7 月	あわぎんホール
	・ 第 31 回全国手工芸コンクール in ひょうご	10 月	兵庫県民会館
	・ 改組新第 6 回日展	11 月	国立新美術館
	・ 第 47 回全国公募県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・ 第 4 回夢のはなパッチワークキルト展	12 月	あわぎんホール
中川 存	・ 第 78 回世代美術展	7 月	阿波銀プラザ
西 浩子	・ 第 10 回徳島女流美術展	5 月	あわぎんホール
平井 恵子	・ かんじる比良 2019 作家と職人展	5 月	近江舞子 森の家
	・ 第 58 回日本現代工芸美術展近畿展 (京都府知事賞)	6 月	京都市美術館別館
	・ 第 70 回大津市美術展覧会 (無鑑査)	6 月	大津市歴史博物館
	・ 第 58 回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7 月	あわぎんホール
	・ 改組新第 6 回日展	11 月	国立新美術館
	・ 第 51 回滋賀県工芸美術協会展	11 月	草津市クレアホール
	・ (秀明文化賞)	12 月	MIHO MUSEUM
福本美智代	・ 第 58 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・ 第 58 回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7 月	あわぎんホール
	・ 第 47 回全国公募県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・ 第 4 回夢のはなパッチワークキルト展	12 月	あわぎんホール
藤井 哲信	・ 第 58 回日本クラフト展	1 月	東京ミッドタウン・デザインハブ
	・ 第 27 回伝統工芸諸工芸展	6 月	日本橋三越本店
	・ 野田収・野田由美子・藤井哲信 3 人展	7 月	ファイブ・ペニイズ
	・ 藤井哲信 藍色のガラス展	8 月	徳島そごう美術画廊
	・ 第 62 回伝統工芸四国展	10 月	高松三越
	・ 21 世紀アート ボーダレス展	11 月	国立新美術館
藤中 教代	・ 第 47 回徳島市芸術祭美術展 (無鑑査)	2 月	シビックセンター
前野 亮治	・ モダンアート徳島支部展	1 月	阿波銀プラザ
	・ 第 69 回モダンアート展	4 月	東京都美術館
松下 慶一	・ 日本工芸会四国支部陶芸部会展	6 月	大西・アオイ記念館
松下 敏之	・ 「青藍窯 松下敏之」作陶展	6 月	ギャラリー M&M
	・ 「青藍窯 松下敏之」作陶展	11 月	櫻ギャラリー
丸居 哲雄	・ ゆるい展	3 月	キョーエイ鳴門駅前店
	・ 全国現代クラフト展	9 月	あわぎんホール
	・ エナジー 2019	10 月	文化の森

	・上板町文化祭	11月	上板町中央公民館
向 紫	・全国現代クラフト展（徳島県知事賞）	9月	あわぎんホール
森 賢一	・第55回現代工芸美術家協会四国会展	1月	坂出かまどホール
	・第58回日本現代工芸美術展（審査員）	4月	東京都美術館
	・第58回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7月	あわぎんホール
	・改組新第6回日展	11月	国立新美術館
矢野 款一	・矢野款一喜寿記念展	5月	徳島そごう美術画廊
山本 和子	・第58回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第58回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7月	あわぎんホール
	・全国現代クラフト展	9月	あわぎんホール
山本 由実	・第58回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第58回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7月	あわぎんホール
	・第4回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
	・第11回たびらこ5+1展	12月	高知大丸
横井嘉世恵	・第47回徳島市芸術祭美術展（招待）	2月	シビックセンター
吉田 眞弓	・第4回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
吉野 由紀	・吉野由紀「花あそび」押花作品展	6月	徳島県立総合教育センター
	・中国・四国・九州押花アート展2019 in 広島（入賞）	10月	広島市JMSアステールプラザ
	・吉野由紀「花あそび」押花作品展	11月	ギャラリーカフェ「ファンファーレ」
	・押花絵画「創造展」第16回コンテスト	12月	
	東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井カンファレンス		
四十宮年代	・第47回徳島市芸術祭美術展（特別出品）	2月	シビックセンター
龍木 秀子	・第58回日本現代工芸美術展（無鑑査）	4月	東京都美術館
	・第58回日本現代工芸美術展 徳島巡回展	7月	あわぎんホール
	・第47回全国公募県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第47回全国公募県手工芸展 in 鳴門	11月	キョーエイ鳴門駅前店
	・改組新第6回日展	11月	国立新美術館

書 道 部

部 会 長 隅 田 英 二

年間展望

◎第 27 回放美展（5 月 2 日（木）～6 日（月）あわぎんホール）

応募点数は 221 点、応募人数 178 人で、前回に比べると、点数で 3 点、人数では 10 人減となった。

本展は、例年若い層の出品が多く、今回展では学生出品が 54%（96 点）を占めている。また意欲的な作品が多く見られ、本展の開催趣旨に添った意義深い公募展となっている。

展示のほか会期中の 5 月 5 日にギャラリートークを開催。審査員である荒井彭仙、伊丹東龍、上田輝芳の 3 氏が受賞作ほかを解説した。大勢のギャラリー参加があって、関心の高さが伺われた。

なお展示は、放美賞 1 点、優秀賞 9 点、四国大学賞 1 点、入選 103 点、無鑑査 2 点、審査員 3 点、合計 119 点であった。



会場風景



ギャラリートーク

◎第 74 回県美術展（10 月 15 日（火）～22 日（火）あわぎんホール）

応募点数は 690 点、応募人数 410 人で、前回に比べると、点数で 56 点、人数では 29 人減となった。書道人口が少なくなったといわれるが、多くの方たち、若い人たちに積極的に出品していただきたいものである。

審査員は、吉澤鐵之（日展会員）、高木厚人（日展会員）、永守蒼穹（毎日書道会理事）の三氏。県議会議長賞を含む特選 8 点（漢字 4、仮名 2、近詩 2）、準特選 14 点（漢字 5、篆刻 1、仮名 4、近詩 2、前衛 2）、奨励賞 13 点（漢字 6、仮名 4、近詩 2、前衛 1）が選出された。

また昨年に続いて「第 74 回徳島県展選抜展」が 10 月 26 日から 11 月 4 日まで吉野川市文化研修センターで開催された。書道部より 54 点（特別出品 2、招待 3、無鑑査 1、特選 4（特別賞を含む）、準特選 7、奨励賞 9、入選 28）を出品・展示した。10 月 26 日のオープニングセレモニーの後、隅田が「書の見方」についてのギャラリートークを行った。



県美術展 会場風景

会員消息（県展・放美展・社中展は除く）

役員で出品した人・入賞者（平成31年1月から令和元年12月）順不同

○第50回正筆会 菁華書作展（東京銀座画廊美術館 1/25～1/27）（高松市美術館 4/6～4/7）

常任総務理事 亀石文苑・竹田和代

総務理事 加村喜美子

○第60回記念太玄会書展（東京都美術館 1/20～1/26）

理事・総務 中尾勝子

理事・実行委員 西谷香峰・南 溪石

理事 下村清子・馬居李帆・鈴木恵理・田上洋香・弘田長風

記念賞 西谷香峰

○第70回記念毎日現代書巡回展徳島展（あわぎんホール 2/11～2/17）

審査会員 玉城乾香・荒井彭仙

会員 岩本志豪・高瀬大峯・多田清芳・中川観山・長原皋月・永松春苑
浜 佳香・平岡幽琴・蓑毛翠琴・吉田和婉

○第55回創玄展（国立新美術館 3/7～3/17・東京都美術館 3/9～3/14）

一科審査員 荒井彭仙・玉城乾香・浜 佳香

二科審査員 永松春苑・多田清芳・岩本志豪・蓑毛翠琴・岡崎啓香

審査会員 吉田和婉・平岡幽琴・岸 緑香・朝三皋如・長原皋月・山口幽径
大西清葩・高瀬大峯・佐藤恵和・武田玲香・仁木志香・玉城乾舞
丸田恵風

秀逸 小野宙成・坂尾竟成・野田満代・長尾香蘭・武市奏香

二科賞 森 香妍

準二科賞 金城泰苑

○第81回謙慎書道会展（東京都美術館 3/17～3/23）

（池袋サンシャインシティワールドインポートマート 3/16～3/22）

常任理事	米澤東籬
理事	平田紀芳
特選謙慎賞	石川翔芳
秀逸	井上晏野・佐野恵水・仁木美馨・奥谷久馨・近藤椿園
褒状	竹内靖馨・山本翔柳

○第8回轟友会書展（セントラルミュージアム銀座 4/3～4/7）

大賞	米澤東籬
----	------

○第73回日本書芸院展（大阪市立美術館 4/9～4/14、5/28～6/2）（大阪国際会議場 4/24～4/28）

参与	薄田玲泉・能仁華瑤
評議員	上田輝芳・亀石文苑・伊丹東龍・辻 紅雲・福家美鵬
一科審査会員	清水桂月・川村春琴・河野真流・宮守崇流・森 光翔・松永翠月 八木藍玉・赤川景舟・井上虹雨・福永美泉・倉本景雨・加村喜美子 浅川蘭舟・四宮千春・河野多美・林 美雪・石井祥洸・吉田翠彩 勝浦光漾・背川景玲・松本景芳・山本景琴・佐野収華・稲木裕美 井上景玄・高橋芳琴
二科審査会員	佐川菁流・谷 玲琴・丸岡春暁・中西瑤汀・忠津玉燕・田中子葉 後藤佳美・皆谷芳穂・伊藤景風・筧 爽韻・岡部比登美・恵美春陽 戸出芳泉・廣瀬蕙花
史 邑 賞	川村春琴・福永美泉・森 光翔
大 賞	岡部比登美・後藤佳美・廣瀬蕙花
特別賞	折野幸峰・田中紫苑
準特別賞	園尾恵風・大下江波・上野益泉・住友春陽
特 選	谷本真由美・野口有香・杉本香苑
一科会員推薦賞	岩本義浩

○第47回日本の書展（マイドームおおさか 5/3～5/5）

招待	能仁華瑤・清水桂月・伊丹東龍・薄田玲泉・河野真流・上田輝芳 宮守崇流・川村春琴・井上虹雨・辻 紅雲・河野多美・福家美鵬 吉田翠彩・森 光翔
秀 拔 選	武市鳴雲・赤川景舟・倉本景雨・山本景琴・佐川菁流・井上景玄 背川景玲・松本景芳・高橋芳琴・廣瀬蕙花・岩本志豪・吉田和婉 八木藍玉・田中子葉・皆谷芳穂・戸出芳泉

○第8回寄鶴文社書展（池袋サンシャインシティ文化会館 5/30～6/2）

奨励賞	井上晏野・佐野恵水
-----	-----------

○第37回日本詩文書作家協会書展（セントラルミュージアム銀座 6/4～6/9）

正 会 員	浜 佳香
-------	------

○第71回朝陽書道会展（岡山県天神山文化プラザ 6/21～6/23）

顧	問	薄田玲泉
総	務	井上虹雨
常	任	河野真流・上田輝芳・宮守崇流
常	任	赤川景舟・倉本景雨・佐川菁流・森 光翔・山本景琴・井上景玄
		背川景玲・松本景芳・皆谷芳穂・廣瀬蕙花
理	事	一ツ松真弓

○第 43 回由源全国書道展（大阪市立美術館 6/25 ～ 6/30）

理	事	川村春琴
常	任	谷 玲琴・丸岡春暁・中村春岳・山口幸琴
委	員	土井和翔

○第 33 玄心書道展（兵庫県原田の森ギャラリー 7/4 ～ 7/7）

副	理	事	長	伊丹東龍
常	任	総	務	辻 紅雲・福家美鵬
総	務	理	事	吉田翠彩・勝浦光漾
参		与		浅川蘭舟
常	務	理	事	田中子葉・忠津玉燕・田村元帥
理		事		吉岡春鵬・三條師昊蒼

○第 57 回水穂書展（京都市勧業館 6/21 ～ 6/23）

総	務	向井京子
理	事	伊藤景風

○第 59 回墨滴会全国書道展（大阪市立美術館 7/2 ～ 7/7）

理	事	戸出芳泉
---	---	------

○第 71 回毎日展（国立新美術館 7/10 ～ 8/4）（愛媛県立美術館 8/21 ～ 8/25）

審	査	会	員	荒井彭仙・玉城乾香
会		員		永松春苑・浜 佳香・多田清芳・岩本志豪・吉田和婉・平岡幽琴
				長原皋月・蓑毛翠琴・高瀬大峯・幸田清尚
佳		作		坂尾竟成・大西清葩・玉城乾舞・岡崎啓香

○第 4 回毎日展篆刻会展（篆刻美術館 8/24 ～ 10/24）

会	員	蓑毛翠琴
---	---	------

○第 36 回読売書法展（国立新美術館 8/23 ～ 9/1）（サンメッセ香川 10/18 ～ 10/20）

参	与	清水桂月
理	事	能仁華瑤・薄田玲泉・河野真流・伊丹東龍・上田輝芳・亀石文苑
		宮守崇流・辻 紅雲・林 美雪・川村春琴・米澤東籬・井上虹雨
		河野多美・竹田和代・福永美泉・福家美鵬・吉田翠彩・森 光翔
幹	事	倉本景雨・佐川菁流・山本景琴・井上景玄・背川景玲・松永翠月
		佐野収華・青木東原・松本景芳・赤川景舟・皆谷芳穂・勝浦光漾
		加村喜美子・廣瀬蕙花・岡部比登美・田中子葉・高橋芳琴
		河野美鶴・四宮千春・阿部博子

評 議 員 内田麻紀・杉本裕子・浅川蘭舟・鈴木恵理・石井祥洸・忠津玉燕
向井境子・井上小百合・八木藍玉・籾 爽韻・田村元帥・後藤佳美
平田紀芳

読 売 俊 英 賞 勝浦光漾・山本景琴

読 売 奨 励 賞 八木藍玉・鈴木恵理・田村元帥・一ツ松真弓

特 選 折野幸峰・石川翔芳・糀真理子

秀 逸 稲井華風・中村春岳・近藤椿園・原口栄香・田岡佐記子

○第 45 回創玄現代書展（セントラルミュージアム銀座 10/29～11/3）

選 抜 富永美祥

○改組新第 6 回日展（国立新美術館 11/1～11/24）

入 選 伊丹東龍・能仁華瑤・亀石文苑・森 光翔・井上虹雨・戸出芳泉
山本景琴・西谷香峰

○第 41 回日本書道学院展（東京都美術館 11/10～11/16）

常 任 理 事 薄田玲泉・河野真流

理 事 赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・上田輝芳・倉本景雨・佐川菁流
住友春陽・背川景玲・高橋芳琴・一ツ松真弓・廣瀬蕙花・宮守崇流
森 光翔・山本景琴・松本景芳

○第 59 回璞社展（大阪市立美術館 12/3～12/8）

顧 問 清水桂月

参 事 能仁華瑤

参 与 武市鳴雲・花本清香・馬居李帆・永岡光翠

常 任 理 事 八木藍玉・松永翠月・横田典子・林 美雪・河野多美・鈴木恵理
弘田長風・佐野収華・石井祥洸

理 事 田上洋香・野口有香・大本華越・岡部比登美・恵美春陽・高柳早秀
谷本真由美・河野美鶴・伊藤景風・南 溪石

幹 事 上田美智・井上加芳・稲井華風・磯川味佳・伊達静蘭・中西瑤汀
北村清翠・籾 爽韻・園尾恵風・澤本悠洸

幹 事 推 薦 賞 一宮堆川

入 選 高橋信華

特 別 賞 柏尾美峯・田中紫苑・野村佳芳

優 秀 賞 多田彩峰・安丸華風

○第 29 回謙慎書道会西部展（四国大学交流プラザ 12/6～12/8）

常 任 理 事 米澤東籬

○第 71 回正筆展（兵庫県原田の森ギャラリー 12/7～12/8）

常任総務理事 竹田和代・亀石文苑

総 務 理 事 加村喜美子・阿部博子

常 任 理 事 内田麻紀・糀真理子・高木美賀子・脇坂 優・笠原三雨・和泉和舟
井上小百合・折野佳子・杉本裕子・寺尾俊通・向井境子

正 筆 賞 田岡佐記子

○第 19 回扶桑印社展（セントラルミュージアム銀座 12/10～15）

準 同 人 養毛翠琴

◎社中展・個展等

○第43回東玄書道会展	アミコシビックセンター	1月18日～	20日
○第70回記念毎日現代書巡回展	あわぎんホール	2月11日～	17日
○第10回徳洋社書作展	県立文学書道館	2月22日～	24日
○第52回清潮書作展	あわぎんホール	3月 1日～	3日
○第7回琴清会書展	アミコシビックセンター	3月 1日～	3日
○玉城乾香 書の世界	あわぎんホール	3月 1日～	3日
○第16回五果会書道展	海の総合文化センター	3月20日～	29日
○第33回正鋒会書展	あわぎんホール	3月22日～	24日
○第39回書研社展	アミコシビックセンター	3月22日～	24日
○第9回桂和会書展	藍商佐直 吉田家住宅	3月22日～	24日
○第32回長玄書道会展	阿波銀プラザ	3月29日～	31日
○第2回正鋒会石井展	石井町中央公民館	3月30日～	31日
○第47回光輪社書作展	あわぎんホール	4月12日～	14日
○第64回成蹊書道会展	アミコシビックセンター	5月17日～	19日
○第49回直心会書展	あわぎんホール	5月17日～	19日
○第13回幽の会書展	アミコシビックセンター	5月24日～	26日
○隅田良佑・英二回顧展	県立文学書道館	6月 8日～	11日
○第26回耿の会書作展	県立文学書道館	6月14日～	16日
○第7回翔和会かな書作展	アミコシビックセンター	7月26日～	28日
○第84回書芸院展	あわぎんホール	8月22日～	25日
○第64回書協人展	あわぎんホール	9月19日～	21日
○第23回せゝらぎ書展	県立文学書道館	11月22日～	24日
○第49回芳藍書道展	四国大学交流プラザ	11月22日～	24日
○第25回六書会書展	ヨンデンプラザ徳島	11月29日～12月 1日	
○第4回由源書心会展	県立文学書道館	11月29日～12月 1日	
○令和元年度高校教員書道展	県立文学書道館	12月 6日～	8日
○第29回謙慎書道会西部展	四国大学交流プラザ	12月 6日～	8日
○第24回尚真書展	あわぎんホール	12月13日～	15日
○第40回臨池書展	アミコシビックセンター	12月14日～	15日
○第41回泉心会書作展	県立文学書道館	12月20日～	22日

※各社中からの報告を受けて掲載しています。

個人（県内社中に無所属）の方で報告がある場合は、掲載内容を12月20日までに書道部会長までご寄稿ください。

デザイン部

部会長 坂野 美恵子

年間展望

◎第 27 回放美展 (2019 年 5 月 2 日 (木) ～ 6 日 (月) あわぎんホール)

第 27 回放美展デザイン部門の公開審査が、4 月 29 日 (月) に徳島市のあわぎんホールで開催された。

出品点数は、99 点で放美賞 1 点・四国大学賞 1 点・優秀賞 4 点・入選 54 点の計 60 点が選ばれた。

審査には、美協デザイン部会員の福井章、四十宮隆志、坂野美恵子の 3 名があたった。

放美賞の南絵里佳さん「私の魚図鑑」は、背景で難しいオレ



放美展会場風景

ンジ色を堂々と使いこなし、描かれた魚や文字もユーモラスであり楽しい軽快な作品に仕上がられているところが評価された。出品点数に関しては、高校生・大学生の出品数が約 90 パーセントをしめ、一般の出品数は 10 パーセントであった。また、5 月 5 日 (日) の表彰式の後、デザイン部門のギャラリートークがあり展示コーナーにおいて参加者とのディスカッションが行われた。

◎第 74 回徳島県美術展 (2019 年 10 月 5 日 (土) ～ 10 月 13 日 (日) あわぎんホール)



県展審査風景

第 74 回徳島県美術展デザイン部門の公開審査が 9 月 29 日 (日) にあわぎんホールで開催された。

今回の審査員は、グラフィックデザイナー・アートディレクターで活躍中の居山浩二先生をお迎えし、厳正な審査が行なわれた。デザイン部門の総出品点数は 65 点であり、特選 2 点、準特選 3 点、奨励賞 3 点他、入選 31 点が選ばれた。

特選の徳島県教育委員会教育長賞を受賞した岡田典子さんの「須弥山（気候行動サミット）」は、環境問題をテーマとしている。サミットのように集う神々の像や自然界の生物の思いを代弁させるように象や竜などを配置し仕上げられていた。その他、会場では様々な傾向の作品が選ばれ受賞者の歓声が場内に響きわたり無事、審査を終了することができた。

会員消息（県美術展・放美展は除く）

■斎藤繁次

11月 藍住町美術展出品（藍住文化ホール）

■斎藤志津子

2月 第47回徳島市芸術祭美術展デザイン部門出品（徳島市シビックセンターギャラリー）

11月 藍住町美術展出品（藍住文化ホール）

■齋藤 剛

9月 「齋藤 剛」写真展（四電ギャラリー）

■坂野美恵子

7月 第104回二科展デザイン部門 審査員（東京 国立新美術館）

9月 全国児童養護施設協議会「児童文化奨励絵画展」 審査員

9月 第15回「徳島県こども美術展」絵画部門 審査員

10月 令和2年用「緑化運動ポスター原画及び緑化標語」 審査員

11月 あわぎん絵画コンテスト「Future Design 徳島」 審査員

■沢口 功

2月 第47回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員出品
（徳島市シビックセンターギャラリー）

12月 第48回歳末チャリティー作品・色紙即売展出品[徳島新聞社会文化事業団]（そごう徳島）

■敷島のり子

2月 「JAGDA 徳島平成マイベストデザイン展」3点出品
「マイ ベスト デザイン ブックレット」掲載（徳島県立近代美術館ギャラリー）

4月 第22回はなはるフェスタ in 野外ポスター展企画運営

7月 世代美術展出品（阿波銀プラザ）

10月 「JAGDA 中四国大会ブロック大会 in 愛媛」（松山市子規記念博物館）

12月 第48回歳末チャリティー作品・色紙即売展出品[徳島新聞社会文化事業団]（そごう徳島）

■田中一郎

- 3月 第27回城東高校定期演奏会 ポスター、チラシ、チケット、プログラム表紙、看板のデザイン制作

■西林良枝

- 2月 第47回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 特別出品
(徳島市シビックセンターギャラリー)

■福井 章

- 7月 徳島調停協会連合会会報にイラスト掲載 「徳島の札所」
12月 第48回歳末チャリティー作品・色紙即売展出品[徳島新聞社会文化事業団](そごう徳島)

■山野井宏宗

- 6月 「JAGDA 日本グラフィックデザイナー協会 通常総会 in 東京」出席
(東京都・日比谷コンベンションホール)
9月 第104回二科展デザイン部 B部門(特別テーマ) 奨励賞
10月 「JAGDA 中四国大会 in 愛媛」 中四国ブロック代表者会議 出席
(松山市子規記念博物館)

■吉本 實

- 2月 第47回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員出品
[徳島市文化協会・(公財)徳島市文化振興公社](徳島市シビックセンター 3F ギャラリー)
2月 「JAGDA 徳島平成 マイ ベスト デザイン 展」 ポスター3点出品
「マイ ベスト デザイン ブックレット」掲載 (徳島県立近代美術館ギャラリー)
「JAGDA 公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会」

■四十宮隆志

- 2月 「第3回 徳島県文化創造審議会」出席 (徳島県庁)
2月 「JAGDA 徳島平成マイベストデザイン展」 3点出品
「マイベストデザイン ブックレット」掲載・企画運営担当(徳島県立近代美術館ギャラリー)
6月 「令和元年度第1回徳島県文化創造審議会」出席 (徳島ホテルグランヴィリオ)
6月 「JAGDA 日本グラフィックデザイナー協会 通常総会 in 東京」出席
(東京都・日比谷コンベンションホール)
10月 「JAGDA 中四国大会 in 愛媛」 中四国ブロック代表者会議 出席
(松山市子規記念博物館)
11月 「全ロシアポスターコンテスト 2019」出品 2点入選(うち1点が審査員特別賞受賞)
(ロシア・トゥーラ美術館にて展示)
12月 「EXPO 2025」公式ロゴマーク(案) 出品

徳島県美術家協会規約

昭和 23. 9. 12 規約制定	昭和 61. 6. 21 規約一部改正
32. 7. 14 新規約制定	平成 4. 6. 27 "
33. 4. 29 規約一部改正	6. 6. 25 "
42. 4. 23 "	10. 6. 27 "
46. 4. 29 "	23. 6. 4 "
47. 5. 29 "	24. 6. 9 "
49. 8. 22 "	25. 6. 1 "
52. 7. 23 "	26. 6. 1 "
56. 5. 5 "	28. 6. 4 "
58. 6. 5 "	30. 5. 26 "

第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称する。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

- 会 長 副会長(2名) 事務局長
理 事(若干名) 監 事(2名)

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員の任期は2年として留任をさまたげない。ただし、会長、副会長、理事においての選出は、80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)

会長・副会長の総会での選出方法は、各部で代議員の中から2名の選考委員を選び、予め候補を選考した後、総会で選出する。

第6条 本会は顧問および特別会員を次の規定によりおくことができる。

- ①会長または副会長を10年以上務めた後、理事会で認められた者を顧問とする。
②理事または副会長を10年以上務めた者、若しくは各部会からの推せんにより理事会で認められた者を特別会員とする。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。事務局長はこの会の事務業務を統括する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員の選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。ただし、最終端数の人員が算出された場合は、繰り上げるものとし1名を追加する。

第9条 理事会及び部会長は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を

執行する。事務局長は必要に応じ事務局員を招集し、事務分担を行う。

第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

部会長・委員(部会員数の3割以内とするが、部の事情によってはこの限りではない)

部監事(2名)

事務局員(2名)

役員は部総会で選出する。役員の任期は2年とし留任をさまたげない。ただし、部会長においての選出は80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員の選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

内 規

1 (監事)

監事は、基本的に規約第3条の順に従って、2部会が役員の任期期間をつとめる。

2 (総会の議長)

総会の議長は、規約第3条の順に毎回持ち回りでつとめる。

(参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会バッチを選定(図案は鬼塚副会長)

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名〜5名)によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。

☆平成23年6月1日 事務局を事務局長の住所に置く。

後援承認事務取扱規定

(趣 旨)

第1条 この規定は、徳島県美術家協会（以下「協会」という。）以外の団体が自主的、自発的活動として行う教育、文化及び美術等の各種行事に対して、協会が後援又は共催若しくは推奨（以下「後援等」という。）をする場合の承認事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規定においての後援とは、協会以外の団体が計画した行事に、協会が当該行事の奨励及び助長をすることをいう。

(基本的な留意事項)

第3条 協会が美術展等を承認する場合は、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 「後援等を承認する」ということは「協会の名義使用を認める」ということであり、それだけに他に及ぼす影響等を十分考慮し、過誤のないようにすること。
- (2) 安易に後援等を承認すると、一般市民の誤解を招き協会の信用をそこなうこととなるので、慎重に取り扱うこと。

(行事の主催者)

第4条 協会が後援等を承認する場合の主催者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 教育、文化など協会の7部門に関係した機関及び団体。
- (2) 国又は地方公共団体及びそれらの機関。
- (3) 教育、文化機関及び美術研究団体。
- (4) 公益法人（宗教法人を除く。）及びこれに準ずる公共的団体。
- (5) その他、協会が特に認めたもの。

(承認の基準)

第5条 協会が後援等を承認する場合の行事内容は、「教育、文化及び美術等の普及向上に寄与するもので、公益性のあるもの。」でなければならない。ただし、次の各号の一に該当するものは後援等の承認をしないものとする。

- (1) 政治的、宗教的中立性を侵すおそれのあるもの。
- (2) 特定の流派等で、協会の後援に適さないもの。
- (3) 営利又は売名（個人、団体を問わない。）の意図をもって企画されているもの。
- (4) 行事の企画、運営等が適切でないと認められるもの。

- (5) その他、協会が後援等をすることを不適当と認めるもの。

(後援等の申請)

第6条 行事の主催者は、協会に後援等の承認を得ようとするときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書（様式第1号）を原則として30日前までに提出しなければならない。

- 2 前項の申請書には、行事計画及び行事内容の記載を必要とする。また、その内容によっては、協会が必要書類の提出を求めることがある。

(承認決定の通知)

第7条 協会は、後援等を承認決定したときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認通知書（様式第2号）により申請者（主催者）に通知するものとする。

(後援等の取消し)

第8条 協会は、後援等を承認決定した後において、当該行事が次の各号の一に該当したときは、後援等を取り消すものとする。

- (1) この規定の第5条の規定に接触することとなったとき。
- (2) 後援等申請書が虚偽の申請であったとき。
- (3) 承認決定の条件に違反し、協会の指示に従わなかったとき。

附 則

- 1 この規定は、平成24年6月9日から施行する。

徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書

年 月 日

徳島県美術家協会会長 様

申請者（主催者）

住 所

団 体 名

代表者名 印

電話番号 - -

次の行事について徳島県美術家協会の後援名義使用承諾を得たいので関係書類を添えて申請します。

新規 ・ 継続 （該当に○印をつけてください）

行 事 名

開催日時（期間）

年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ）

開 催 場 所 名

開催場所所在地

共 催 団 体 名

他の後援団体名

入 場 料

有（詳細を記入： ） ・ 無

後援承認通知書
送付先住所氏名

〒 - 氏名

行 事 概 要
（行事計画及び行事内容などを記載してください）

注 1） 共催団体名、他の後援団体名は予定のものも含めて記載してください

様式第 1 号

あ　と　が　き

会員の皆さまをはじめ、関係者のご尽力・ご協力のおかげで、春の第 27 回放美展、秋の第 74 回徳島県美術展とも無事盛会裡に終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

今年度の美術年報の装幀は日本画部の土方るみ子さんにお願いし、新しい時代にふさわしい素晴らしいものになりました。

3 年前より、徳島県美術家協会のホームページが開設されています。なかなか更新が出来ませんが、多くのアクセスをお待ちしています。お気づきの点は事務局までご連絡ください。ホームページのアドレスは次の通りです。

<https://toku-bikyo.info/>

さて、今年度より事務局を彫刻部から引き継ぎ、美術工芸部が担当させていただいております。不慣れで行き届かない点もあろうかと思いますが、ご協力よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、これからも皆さまの創作活動が人々に感動を与え、徳島県全体の美術界のますますの発展につながることを心より願っています。

徳島県美術家協会

事務局長 藤井 哲信

美術年報 2020

令和2年3月30日 印刷

令和2年3月31日 発行

編集者 藤井 哲 信

装幀者 土 方 るみ子

発行人 松 永 勉

印 刷 星印刷株式会社

発行所 徳島県美術家協会

吉野川市鴨島町喜来 139 藤井方

